# ＬＰガス販売業トータルシステム
# ［アクセル］
# マスタ記入要領

株式会社　アクセス

２０２４年　２月　第１９版
２０２２年　７月　第１８版
２０１９年　６月　第１７版

# 目　　次


１．　得意先マスター　.....　１－１

２．　担当者マスター　.....　２－１

３．　お知らせ情報　.....　３－１

４．　社名／営業所名マスター　.....　４－１

５．　名称名マスター　.....　５－１

６．　システム定数　.....　６－１

７．　銀行名マスター　.....　７－１

８．　商品名マスター　.....　８－１

９．　ガス料金マスター　（使用しません）.....　９－１

１０．容器マスター　.....　１０－１

１１．ガス料金マスター（計算式）.....　１１－１

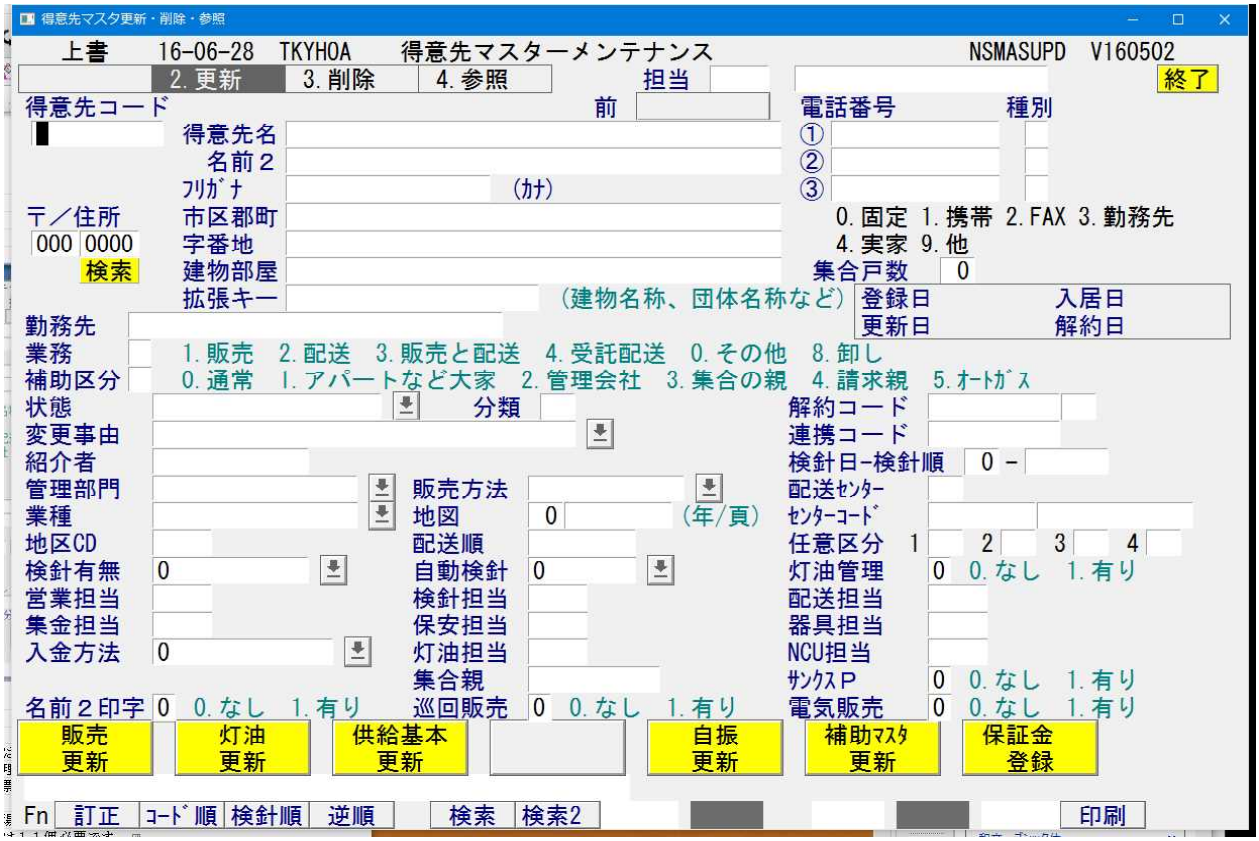
１２．工事マスタ　.....　１２－１

１３．仕入先マスタ　.....　１３－１

付録　１．社名／営業所名マスター登録用紙
　　２．担当者マスター登録用紙
　　３．得意先マスター登録用紙

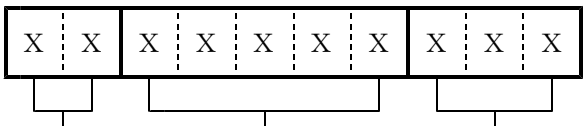
# １．得意先マスター

［基本項目］




## (1) 得意先コード

得意先１件づつにつける固定番号。同一のコードは許されません。
同一の得意先に対して、販売、配送、その他の管理を行う場合は、コードは１つだけ作ります。
但し、メーターが２つ以上ある場合には、検針伝票の発行に必要なので、同一の得意先であっても、メーターの数だけのコードを作って下さい。
集合住宅のように、検針と配送が別々に行われる場合には、各戸とは別に、配送用のコードを作ります。すなわち、１０部屋あるとすれば、コードは１１個必要です。




集合住宅の各戸に付ける。
　　００１～９９９
配送用の親コードは、スペースまたは０００にする。
００００１～９９９９９の連番
但し、１番刻みに付けると後で挿入ができるので、件数に応じて１０番、１００番刻みとしてもよい。また、先頭文字を地区分類に使用してもよい。

営業所、地域などを分類するのに使用する。
検針伝票や請求書に印刷される会社名は、この

コードで参照される。
また、ほとんどの帳票では、このキーで小計、合計を出すようになっている。
従って、他社分の伝票発行処理を行う場合には、自社分とは別にしたほうがよい。

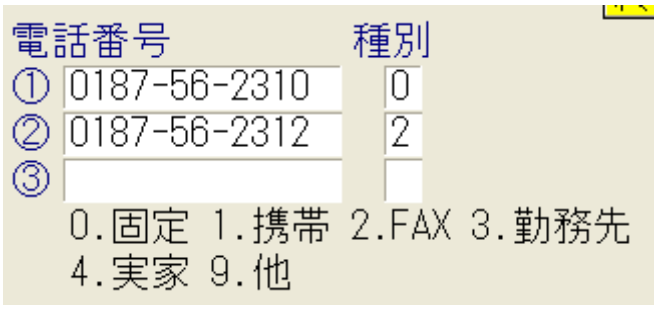
文字の種類は、数字、英字、カナ文字及びそれらの混在が可能。伝票入力時の操作性を考慮すると、数字で統一することが望ましいです。

### (2) 得意先名

得意先の個人名、会社名などを漢字で４０文字以内で記入します。伝票や帳票のレイアウトによっては、４０文字全部が印刷されないものもあるので、左詰めで記入して下さい。特に、ハンディでは１１文字しか表示できず、印刷も１２文字なので、それを考慮して、登録を行って下さい。
請求書などは全桁印字します。
アパートなどで、未入居の場合は、部屋番号としてもよいです。

### (3) 電話番号

３個まで登録できます。




それぞれの桁数は、１３桁までです。
種別は、０，１．．．９で入力して下さい。

市外局番を入れる必要はないが、ＣＴＩとの連動を考慮して、始めから入れておくとよいです。得意先の検索には、下４桁を使用します。キーは、①、②です。

### (4) フリガナ

５０音で得意先を取り出すのに使用します。画面検索では、前８文字だけ使用するので、検索しやすいように記入して下さい。

### (5) 郵便番号

３桁＋４桁で、規定のものを登録して下さい。これを入力すると、［検索］で、郵便番号辞書にある住所を自動入力できます。自動入力される文字列は、［市区郡町］に入ります。

### (6) 住所

全角で６０文字入ります。
　最初の枠は、市区郡町（都道府県を除いて）
　次の枠は、丁目と番地
　３番目の枠は、建物名と部屋番号
と、登録すると良いです。

### (7) 拡張キー

集合住宅の名称などを、半角カナ文字で入力します。初めの６文字をキーにしており、検索時に使用することができます。

### (8) 集合戸数

集合住宅の親コードを登録する場合には、「ガスを使用中」の戸数を入力します。
「配送管理」「保安管理」で使用します。集合住宅の配送予測を行う場合に必要です。

### (9) 勤務先

必要なとき、得意先の勤め先名称を登録します。

### (10) 業務

得意先に対して適用する業務を指定します。
この指定によってレコードの発生、削除が行われ、使用するプログラムも制限を受けます。

１：販売管理だけを行う。
　売上／入金伝票の入力が行える。配送伝票は入力できない。
２：配送管理だけを行う。
　配送伝票の入力が行える。売上／入金伝票は入力できない。
３：販売管理と配送管理の両方を行う
　すべての伝票の入力が行える。
４：配送管理だけを行うが、検針伝票による予測の修正は行う。
　検針伝票の入力を行っても、明細の履歴は残らない。
　（自社の得意先でないときに使用する）
０：得意先の名称だけ登録したいときに指定する。
　勤務先、ＤＭ送付先、アパート大家、紹介者などが該当します。
８：卸先を明確にしたいときに使用します。
　１（販売管理だけ）と同じことができますが、印刷などの分類で区分けできるものがあります。

### (11) 補助区分

業務区分を細分化しています。

０：通常はこの状態です。
１：アパートなどの大家の名称であることを示します。販売の対象でなければ、業務は０にします。
２：管理会社の名称であることを示します。販売の対象でなければ、業務は０にします。
３：集合の親
４：請求親
５：オートガス

### (12) 状態

得意先の状態を表す１文字を指定できます。
プルダウンメニューから選択して下さい。

０～９：任意
Ａ～Ｚ：システムで使用するので固定
　Ｎ：新設の得意先（マスタ登録未完了）
　Ｏ：新設の得意先で空き家
　Ｔ：停止中で供給なし
　Ｕ：他社転換
　Ｖ：引越し得意先（転出）
　Ｗ：一時止め（休止中）
　Ｘ：滞納止め
　Ｙ：引越空き家

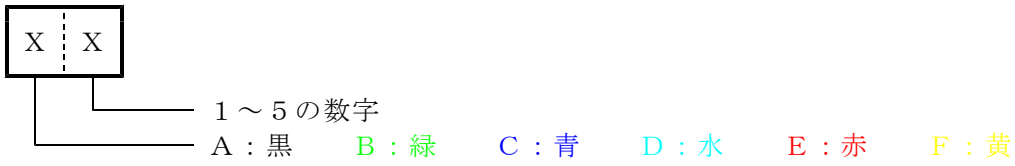
（05.04.02追記）

リースの売上は行わないが、検針には行ける。。
Ｚ：解約
検針伝票の発行も行われない。

項目の登録は、「名称マスタメンテナンス」の「状態」で行います。

### (13) 分類

①得意先の色分けに使用する。




ここに、Ａ１～Ｆ５の文字が記入されていると、ＣＴＩ対応の「得意先問い合わせ」に、
例えばＥ３ならば、■■■　のようにマークが表示されます。

### (14) 解約コード

「解約マスター作成」で作成した解約コードを示します。
コードの変更を行った場合も同様です。
ここでは入力できません。

### (15) 連携コード

他システムと連携するときに、使用します。あるいは、当システムに移行したときに、旧システムで使用していたコードを覚えておく場合に使用します。

### (16) 変更事由

得意先マスタの項目の変更を行った理由を２桁のコードで指定できます。
プルダウンメニューから選択できます。

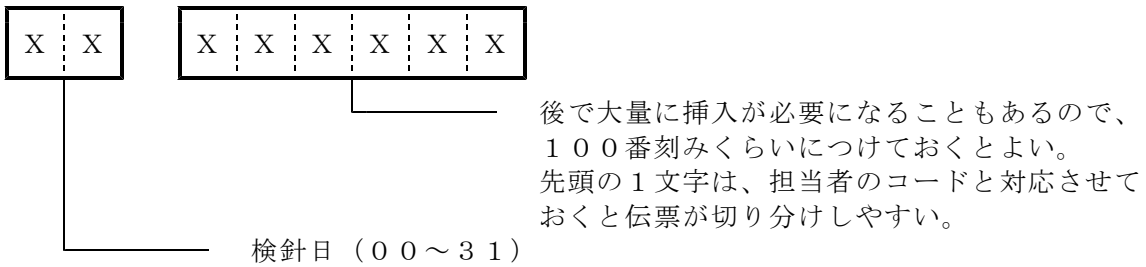
項目の登録は、「名称マスタメンテナンス」の「マスタ変更事由」で行います。

### (17) 紹介者

新しい得意先を紹介してくれた得意先を記録しておくのに使用します。工務店などの得意先コードを入れておくとよいでしょう。コードでなく、名称をそのまま入力しても良いです。

### (18) 検針日、検針順

毎月の検針予定日、各検針日内の検針順をつける。検針順に帳票出力を行うならば、検針のない得意先にもつけておいたほうが良いです。
検針伝票の入力、出力は、この順番に行われるので、それを考慮してつける。



### (19)管理部門

売上等の集計をこの分類で取るために使用します。コードの名称は、「名称名マスタ」で登録します。（限られた帳票で使用可能で、一部のユーザに提供しています）

### (20)販売方法

得意先へのガスの販売方法を指定します。

１．体積販売
２．質量販売
３．体積＋質量販売

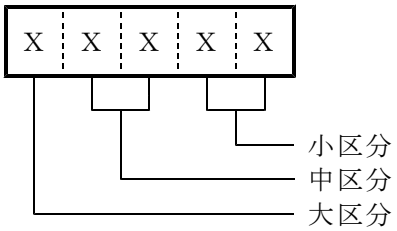
省略した場合は、「１．体積販売」と同じになります。主に、得意先の分類に使用し、伝票入力においては制限を掛けていませんから、売上／請求には影響しません。

### (21)配送センター

配送を委託している先の識別番号を入力します。自社の場合は、空欄で良いです。
コードおよびセンター名称は、「名称マスタメンテナンス」の「センター名」で行います。
検針データを交換する際には、このコードで識別します。相手先のシステムにより、交換できるかどうか判断が必要になります。

### (22)業種

得意先を業種分けして資料を取り出したいときに使います。
標準データが提供されるのでそれを参考にしてつけて下さい。




規定値

０　　：一般住宅
０００：一般住宅（戸建て）
００１：集合住宅（アパート）
００２：集合住宅（集中配管、簡易ガス以下）
１　　：業務用（３号以下）
２　　：業務用（３号以上従業員１０人未満）
３　　：業務用（３号以上従業員１０人以上）
４　　：工業用
６００：重量販売
６１０：灯油のみ販売
６２０：器具のみ販売
６３０：オートガス
６４０：ガス卸し
６５０：器具等卸し
７　　：一般高圧ガス
７００：一般高圧ガス（家庭用）
７０１：一般高圧ガス（業務用）
Ａ　　：簡易ガス　他は０と同じ
Ａ００：簡易ガス（戸建て）
Ａ０１：簡易ガス（集合）
Ｂ　　：簡易ガス　他は１と同じ
Ｃ　　：簡易ガス　他は２と同じ

D　　：簡易ガス　他は３と同じ
Z　　：業種分類の対象にしない

用途の固定されているコードがあります。「名称マスタ」の「業種区分名」を参照してください。

### (23)地図

得意先の住居の位置を市街地図ですぐにさがせるように、頁や記号をコード化して登録します。
前の２桁には、地図の作製年を入れ、後の８桁には、ページ、たてよこの記号を入れます。

### (24)センターコード

当システムと、他社（配送委託先など）を連携するときに、他社からみた当方のコードを登録します。

| | | |
|---|---|---|
| 販売店コード（８桁まで） | ＋ | 得意先コード（１２桁まで） |
| 他社からみた、当社の会社コード | | 他社からみた、顧客の得意先コード |

（注）フロッピー、オンラインなどで他社と交換するには、前述の、「配送センター」の登録も必要です。
また、この機能は、オプションとなりますので、標準システムには含まれていません。

### (25)地区CD

「売掛金管理表」などを、地区別に印刷したいときに、使用します。

４桁以内で地区分けする。（町村、河川、ゼンリン地図など）

### (26)配送順

定期的な、容器の巡回配送を行う場合に、伝票の発行順番を定義します。

### (27)任意区分

区分１：

他社とのデータ交換を、行う場合に、他社を分類するために使用することができます。
この場合は、センターコードと組み合わせて使用します。

旧システムから移行したときには、「配送センター」「区分１」の両方にコードが入りますが、区分１は、互換用であり、配送センター連携コードとしては、「配送センター」を優先していきます。

（注）この機能を使用する場合は、オプションとなります。コードは、固定的に決めていますので、使用する場合には、サポート担当に確認する必要があります。

区分２から４：任意。プログラムによって用途が異なります。

### (28)検針有無

販売管理の対象得意先中で、検針を行っているかどうかを、識別します。検針を行っていない場合は、検針日／検針順の指定があっても、検針伝票は出力されません。

１：検針の対象である。
２：ハンディのみで検針する。
３：伝票のみで検針する。
９：検針の対象でない。

### (29)自動検針

テレメーターシステム（＝集中監視）で検針を行っている得意先を識別します。

０：テレメーター・システムは使用していない。
１：テレメーター・システムを使用している。
　定期検針データで売上伝票を作成する。手書きの検針伝票、ハンディへの取り出しは行わない。
２：テレメーター・システムを使用している。
　定期検針データを売上として使用しない。手書きの検針伝票、ハンディへの取り出しが行える。

この指定がある（１または２）と、配送管理を行っている場合は、「残ガス警報」、「切換情報」などで容器　の交換指示が出るようになり、プログラムによる予測と併せてより的確な配送管理を行うことができます。

### (30)灯油管理

灯油販売管理を行うかどうかを指定します。ありとした場合は、「灯油マスタメンテナンス」で詳細情報を追加登録して下さい。

### (31)営業担当

この得意先の基本担当者のコードを登録します。担当者別のリストを出力するときに使用します。

### (32)検針担当

検針、販売関係の担当者コードを入れます。
帳票の印刷順や印刷範囲の指定にも用いる事が多いので、販売管理の対象得意先には、必ず指定してください。す

### (33)配送担当

配送関係の担当者コードを入れます。
ハンディを使用して、容器の配送を行う場合に、このコードで抽出します。

### (34)集金担当

集金の担当者コードを入れます。ハンディで集金する場合は必要。

### (35)保安担当

保安業務を行う担当者コードを入れます。

### (36)器具担当

器具の販売担当者コードを入れます。
ハンディを使用した巡回販売でも、このコードで抽出します。

### (37)灯油担当

灯油の販売担当者コードを入れます。主に、ハンディを使用して灯油の配達を行うときに使用します。

### (38)NCU担当

集中監視システムから検針データを取り込む際に、売上担当としてこのコードを使用します。

### (39)入金方法

入金方法を区別します。

１：集金
２：現金
３：預金口座から自動振替する。
　別に銀行番号などの登録が必要です。
４：生協
５：銀行振り込み
６：郵便振込。この指定があると、郵便振替用紙の印刷が選択的に行える
７：コンビニ回収。コンビニでの振込用紙を作成するためのデータを出力できる。印刷用紙の作成は、ファイナンス会社等で用意するソフトを使用する。
８：クレジット
　クレジット会社と与信情報の交換などを行うには、別にクレジット情報（カード情報）の登録が必要です。（単に「覚え」として使用するならば、詳細情報は不要です。）
その他：現金と同じ

金融機関に自振の依頼書を出すには、３でなければなりません。３を指定したときは、銀行番号などの登録も必要です。どの選択を行っても、現金、振込での入金は可能です。

マスタメンテナンスプログラムでの処理
自振であった得意先を、例えば、「２．現金」に変更したときには、自振の情報を消さずに、保存します。このとき、「自振無効状態」となり、「問い合わせ画面」「マスターメンテナンス」画面にその旨表示されます。再度、「３．自振」に戻したときには、再生されます。　(2005.09.01)

### (40)集合親

このデータが、集合の子コードであるときに、親コードを示す番号を登録します。
本来、システムでは、コード番号のみで親子関係がわかるようになっていますが、他システムからの移行時などに、親子関係のコードが判別しがたいときに、ここでそれを示します。
登録されていないときには、システムが自動的に親コード（自身のコードの前７文字と同じ）を登録します。
（この機能を使用するには、「システム定数」でその旨指定する必要があります。）

### (41)サンクスポイント

サンクスポイントの管理を行うかどうかを指定。

０＝行わない　　１＝行う　　９＝行わない

### (42)名前２印字

得意先名の２番目の項目を印字に使用するかどうかを指定します。一部の伝票で使用します。

０＝印字しない　　１＝印字する。

### (43)巡回販売

定期的な「巡回販売」をハンディ等を使用して行う場合に、このコードで抽出します。

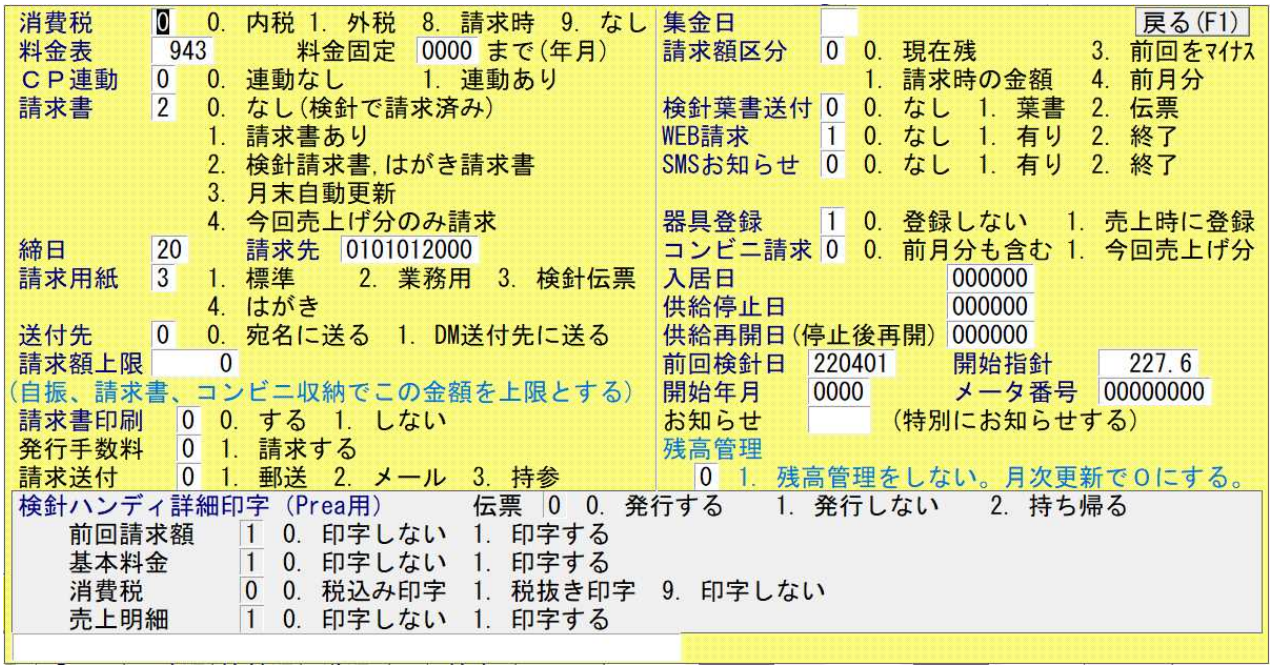
０＝行わない　　１＝行う　　９＝行わない

### (44)電気販売

得意先が、「電気販売」の対象であるかどうかを指定します。

０＝なし　　１＝行う　　９＝なし

［販売管理基本データ］




### (1) 消費税

消費税をどのように添加して請求するかを指定します。

０：内税
請求書上では、売上明細は税込みで印字し、税額の合計を（）で囲って印字する。

例

| |
|---|
| 湯沸かし器　　２１６００ |
| （消費税）　　（１６００） |

１：外税
請求書上では、売上明細は税抜きで印字し、税額の合計を「消費税」として印字する。

例

| |
|---|
| 湯沸かし器　　２００００ |
| 消費税　　１６００ |

８：請求書発行時に、売上明細を合計した上で税額の計算を行います。

９：消費税の表示はない。

### (2) 料金表

ガス料金を決めるための、ガス料金表の番号（００００～９９９９）を指定します。
省略時は、００００になりますが、指定なしとみなされるので、料金番号は、０００１から使用して下さい。

### (3) 料金固定

ここに年月を登録すると、その年月までは、料金の改定を行わないことを示します。
例えば、［１９１２］と入力した場合、２０１９年１２月までは、指定の料金表を改定しないことを示します。「得意先マスタ一括修正」を行っても、対象外になります。の

### (4) ＣＰ連動

**ガス料金の計算にＣＰを使用します。ここに指定があると、料金表は使いません。**
**別に登録する「ＣＰ連動単価」を使ってガス料金の計算を行います。ＣＰは毎月変動するので、該当月の初めの検針の前に設定しなければなりません。**

### (5) 請求書

検針伝票以外に請求書の発行を行うか否かを指定します。

０：検針伝票にガス以外の売上明細を印刷し、別の請求書の発行は行いません。
検針伝票が「請求書」になるので、伝票入力時に売上明細の締め処理を行います。
従って伝票の入力時点が締切日になります。

１：通常の請求書を発行する。
「締日」に従って、請求書の発行を行います。
発行する印刷用紙は、「請求用紙」で定義します。

［特殊な機能］
「検針請求書」の印刷、「葉書請求書」の印刷では、この区分を指定していても発行を可能にしています。その際は、「請求締め処理」は、行われません。
「通常の請求書」の発行も行う必要があります。
また、「通常の請求書」を先に発行した場合は、「検針請求書」「葉書請求書」は、すでに請求済みなので、発行できません。

２：検針請求書、葉書請求書を発行する。
「検針請求書」、「葉書請求書」を発行する場合は、その発行時に締め処理を行うので、「通常の請求書」を発行する必要はありません。

３：請求書の発行はしないが「月次データ締処理」で売掛金（買掛金）の締めを行い、請求書の発行と同等の処理を行います。
ガスの検針のない得意先（灯油のみ、仕入れ先、現金売り用の諸口など）はこれを指定します。

４：前回請求以降の売上明細だけを印刷する。
入金は印刷されないので現在残高の確認はできません。入金時期が次の請求より後になってしまう様な得意先に指定するとよいです。（主に会社、業務用）

（注）請求書の発行ありとした場合は、必ず締日を指定すること。
検針請求書は、検針伝票の用紙を請求書として使用するものである。

ガスの検針のない得意先は、必ず０以外を指定すること。

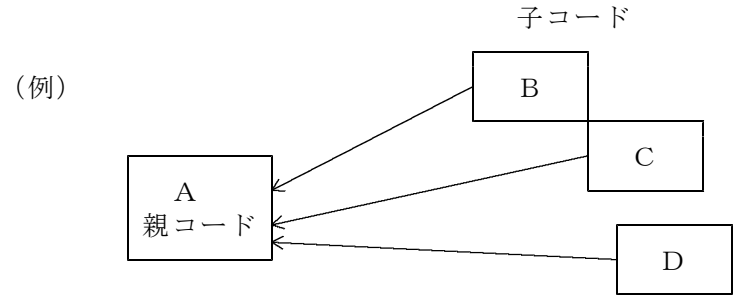
### (6) 締日

請求書を発行するときに、得意先の選択を行うために使用します。
請求書に印刷される明細は、毎月この締日までの分となります。

X X　請求書の発行ありとした場合は必ず、００以外の日付を指定します。

### (7) 請求先

複数の得意先の請求を１得意先に集めて、請求書を１つにしたいときに、集める先の得意先コードを指定します。




Ａが本店で、Ｂ～Ｃが支店の場合で、支店の請求をまとめて本店に行うならば、請求先にＡの得意先コードを指定する。

### (8) 請求用紙

請求書の用紙の種類を指定します。１種類しか使用していないならば、何も指定しなくて良いです。

０：どの用紙にも該当する。
１：標準用紙
２：業務用に行数を多くした用紙
３：検針伝票に請求内容を印刷する。
　毎月検針後に出力する。自動検針、ハンディ検針などで検針したのち保存用の伝票としたり、集金に用いる場合に使用する。
４：葉書に請求内容を印刷する。
　毎月検針後に出力する。
５：コンビニ

### (9) 送付先

通常以外の宛名に郵便物を送る時に使用します。主に、請求書で使用できます。
０：マスタの住所を使用します。既定
１：補助マスタにある住所を使用します。

### (10) 請求額上限

この金額以上の請求は行わない、という金額を登録します。
例えば、毎月１万円以内の請求にしたいときは、１００００と入力します。すると、
請求書、自振、コンビニ請求、入金票などでは、残高が１００００円以上であっても、１００００しか請求しません。もちろん、残高がそれ以下であれば、そのまま印字します。
コンビニ請求のとき、請求の明細を印字するタイプでは、この機能は働きません。

### (11)請求書印刷

請求処理を行うが、実際の「用紙」の発行はしたくない場合に使用します。

０：印刷します　　１：印刷しません

### (12)発行手数料　　2022.0401

コンビニ納付書または請求書発行で、発行手数料を頂くかどうかを指定します。

０：頂きません
１：頂きます

「１」を指定すると、手数料を売上します。金額は「システム定数」で規定します。

・請求書の発行時に、手数料を加算する。
・コンビニ納付書の発行時に、手数料を加算する。

### (13)請求送付

2022.04.01

請求書をどのようにお客に送るかを規定します。
０：規定しない。
１：郵送する。
２：メールで送る。
３：持参する。

### (14)集金日

毎月の集金予定日を入力します。
ハンディへ集金データを取り出すときに使用する。指定があると特定の集金日だけ取り出すことができます。

### (15)請求額区分

自振やコンビニの請求額をコントロールします。
クレジットの場合は、「銀行名マスタ」に登録されているフラグが意味を持ちます。
自振対象：０、１　以下の０から４の機能が有効になります。
自振対象：２　　前月分だけを対象にします。

０：現在残。既定。
１：請求時の金額。検針入力、請求書発行などで、締められた請求額を対象にします。
２：前月分だけを対象にします。
３：前回の請求額をマイナスする。サイトが３０日を超えるような場合に使用。
すでに前回は請求中であり、まだ入金結果を受け取っていない状態で、新しい請求データをつくるようなメースに使用する。
４：現在の残高のうち、当月の売上分をマイナスする。前月残に対して、当月の入金をマイナスした金額と同じになる。　　(2014.05.28追加)

### (16)検針葉書請求

通常の請求書とは別に、「はがき」または「検針伝票」で、検針結果をお知らせするために使用します。
検針結果でのお知らせだけなので、発行しても「締め処理」は行いません。

０：なし

１：葉書（圧着葉書、官製葉書などでお知らせします）
２：検針伝票（検針伝票形式でお知らせします）　　（未実施）

**(17)WEB請求**

一部のプログラムで使用可能です。
インターネットを使用して、請求明細などを参照可能にしている場合に指定します。

０：なし　　１：有り　　２：終了

**(18)SMSお知らせ**

一部のプログラムで使用可能です。
インターネットを使用して、請求明細などをショートメールで送付する指定です。

０：なし　　１：有り　　２：終了

**(19)器具登録**

売上入力した器具を取付器具情報として設備ファイルに、永久保存するか否か指定する。
卸し先は０とする。商品マスターの器具自動登録が１の商品にのみ適用される。

１：売上伝票の入力で、売り上げた商品が自動登録の対象であれば、設備ファイルに永久保存する。
０：この得意先には自動登録は行わない。

(20)コンビニ請求

未使用

**(21)入居日**

入居した日付。入力してあると、検針を開始した日付と同等に扱われます。
検針開始日の方が新しい日付ならば、この日付は、前回検針日としては使用されません。

**(22)供給停止日**

供給停止をした日付を記録するのに使用します。

**(23)供給再開日**

供給停止があり、その後に再開した場合に、その日付を入力します。
この日付が入力してあると、検針を開始した日付と同等に扱われます。
検針開始日の方が新しい日付ならば、この日付は、前回検針日としては使用されません。

**(24)前回検針日**

検針伝票に、「前回検針日」として印字されます。
通常の検針サイクルに入ったならば、更新はしないで下さい。

**(25)開始指針**

検針伝票に、「前回指針」として印字されます。
通常の検針サイクルに入ったならば、更新はしないで下さい。
「前回検針日」が入力されていないと更新できません。

**(26)開始年月**

入居したときに、最初の検針をいつから行うか指定します。

・前回検針日　　ハンディなどに前回検針日として印字される。
・開始指針　　最初の指針

・開始年月　　この月になるまで、検針は行わない。
・メータ番号　　参照用

前回検針日、開始指針は、「電算処理開始データ入力」でも更新できます。また、検針が１回はいると更新されます。（最後の検針が表示される）

### (27)お知らせ

検針用のハンディで、特定の「お知らせ」を印字したい場合に、ここにお知らせコードを登録しておくと印字されます。

検針時には、ハンディでも選択して印字することができます。
特定の料金番号の得意先だけに、同じお知らせを印字するようなケースでは、一括登録する機能があります。（「料金番号とお知らせ文の設定」）

### (28)残高管理

０．通常
１．他社から任されている得意先など、売掛金の管理を必要としない得意先に対して、常に０円で翌月に繰り越します。

### (29)ハンディ規定項目

伝票　０．発行する。（通常）
　　１．発行しない。検針数値だけ取り込みたい場合に使用します。
前回請求額　０．印字しない。
　　１．印字する。
基本料金　０．印字しない。
　　１．印字する。
消費税　０．内税で印字する。
　　１．外税で印字する。
　　９．表示しない
売上明細　０．印字しない。通常、前回請求額を印字しないときは、明細も印字しませんが、コントロールできます。
　　この場合でも、「割賦」「リース」の明細は印字されます。

　　１．印字する。
　　前回請求（＝検針）後の、売上、入金の明細を印字します。
　　但し、前回請求額を印字しないときは、入金は、印字しません。

　　現金販売の明細を印字したくないときは、売上伝票の入力時に［現金］として入力します。売上／入金両方の明細が「請求済み」になるので、ここでの指定にかかわらず印字されないようになります。

これらの、指定は、マスタの登録時に、「システム定数」との組み合わせで、初期値がセットされますが、任意に変更することが可能です。

○「検針お知らせ葉書の印刷」と「請求書」の組み合わせ　　2023.10.31追加

自動検針などで検針データを入力して、お客に通知する方法として「葉書の印刷」があります。
葉書には、請求を伴うものと／伴わないものがあり、「請求書」と組み合わせすることができます。

| | 請求書 | 請求用紙 | 検針葉書送付 |
|---|---|---|---|
| １．葉書だけで請求する（インボイス） | 2 | 4 | 0 |

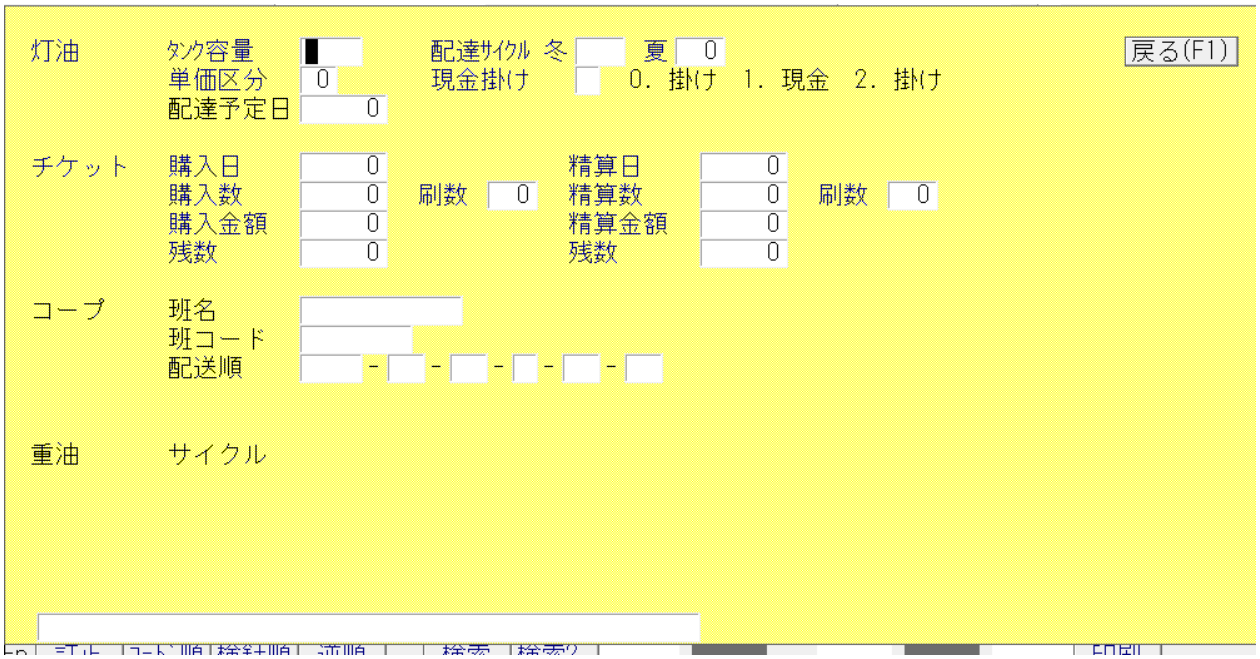
| | | | |
|---|---|---|---|
| ２．葉書の発行はする（非インボイス）が<br>別途請求書（インボイス）を発行する | １ | １or２ | １ |
| ３．葉書の発行はせずに、請求書（インボイス） | １ | １or２ | ０ |
| ４．葉書だけ発行する（非インボイス）<br>を発行する。 | ０ | ０ | １ |
| ５．何も発行しない | ０ | ０ | ０ |

これらは、「ハンディ検針」「伝票検針」「自動検針」とは関係ありません。
検針が無くとも、「１」「３」の機能は実行できます。
「検針葉書送付」は、検針の無い場合は無意味です。また、発行すると「発行済みフラグ」がセットされ、次の検針が入力されて、フラグがリセットされると次の発行が可能になります。

その他に組み合わせる機能として、以下のものがあります。

ａ．発行手数料の請求
ｂ．ＰＤＦをメールで送る。（ＰＤＦを個別に作成する機能が必要）
ｃ．ＷＥＢ請求を行う。
ｄ．検針結果をメールで送る。

［灯油販売マスタ基本］




(1) 灯油

システムで配達予測をするときに、登録します。
　タンクの容量：リットルで登録します。
　配達サイクル：固定的に配達サイクルを決めたいときに指定します。例えば、２週間間隔であるならば、１４と入力します。
　単価区分　　：単価の種別を登録します。
　　例えば、０１として登録しておき、灯油の単価メンテナンスでは、０１に該当する単価（リットル）を登録します。
　配達予定日　：随時更新されるので、ここでは意味がありません。

(2) チケット

灯油のチケット管理をするときに使用します。チケット管理のサブシステムでも更新されますから、ここでの入力は、初期値として使用します。

　購入日　　：最近の購入日です。
　購入数　　：購入した数量です。
　購入金額　：そのときの金額です。
　残数　　　：現在の残枚数です。

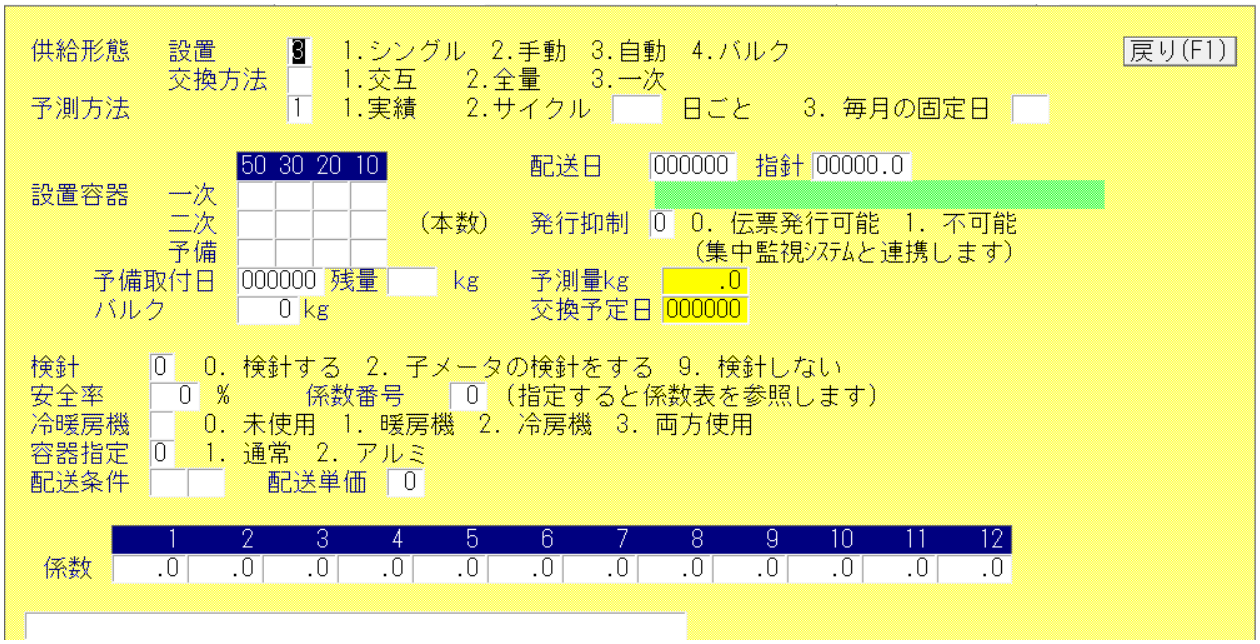
　精算日　　：残数を精算した日です。
　精算数　　：そのときの精算枚数です。
　精算金額　：そのときの返金額です。
　残数　　　：精算して残った枚数です。

(3) コープ

固有情報です

(4) 重油

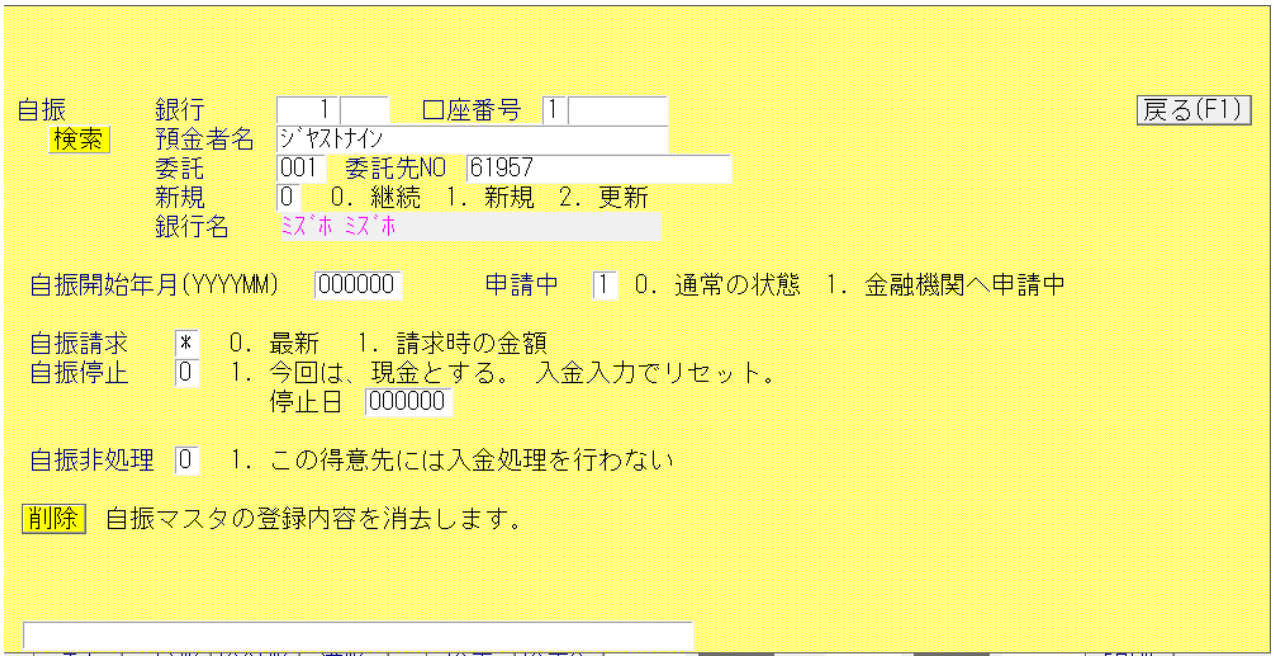
［供給マスタ基本］




「供給マスターメンテナンス」を参照下さい。

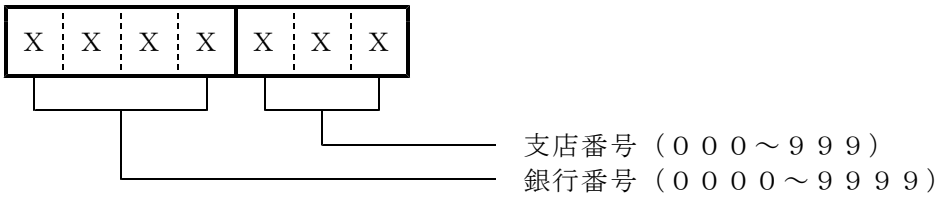
［自振マスタ基本］

ここでの記入内容は、入金方法で３（自振）を指定した場合のみ有効です。
但し、一度自振にすると、［削除］しない限り内容は消されません。



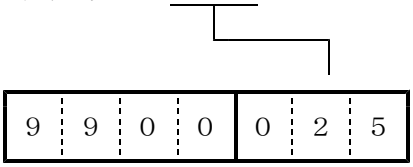

### (01) 銀行

得意先の預金口座のある銀行の銀行番号と支店番号を入れる。




郵便局の場合は、銀行番号９９００で固定。支店番号は、通帳記号の５桁のうち中３桁を指定する。

（例）通帳記号：１０２５０




### (02) 口座番号

口座の種別と口座番号の７桁を指定する。

預金種別

１：普通預金
２：当座預金

（注）郵便貯金の場合は、口座番号に通帳番号８桁のうち左の７桁を指定し、預金種別は０にする。

### (03) 預金者名

預金口座振替請求書に印刷される口座名義人名をカタカナ３０文字以内で指定する。
小文字は使用しないこと。
フロッピィで銀行とデータ交換を行う場合は、正確に入力すること。

### (04)委託

ファイナンス会社などを通じて、自振を行っている場合に、そのファイナンス会社の識別コードを指定する。複数の銀行を束ねるのに有効。

| X | X | X |
|---|---|---|

０００～ＺＺＺ：例えば、浜銀ファイナンスは、００１のように

### (05)委託先NO

ファイナンス会社によっては、全銀のルール外に独自に定めた規格で、データ交換をしているところがあります。特に、得意先コード２０桁の扱いが、まちまちであり、対応のとれないことがあります。その場合に、この２０桁で、相手の指定するコードを入力しておき対応します。ここに何かを記入すると、フロッピーの作成時に、この内容が「顧客コード」として記入されます。

### (06)新規

預金口座振替を初めて行う得意先に対して指定する。
一度、自動振替が正常に行われて、入金されると自動的に０になる。

０：振替の実績あり（通常の状態）
１：新規振替得意先（一度も振り替えされていない）
２：更新（口座番号などの変更）
３：停止（自振請求しない）　(02.12.04追加)

(07)自振開始年月

ここに、開始年月（yyyymm）を指定すると、その年月がくるまで、請求対象にしない。
省略（＝０）すると、チェックは行わない。

(08)申請中

金融機関に、書類を提出していて、まだ「手続き」が完了していないときに、「１」にしておくと自振の請求対象にしない。
ハンディの検針票にも、入金方法は、「自振手続中」と印字されます。

### (09)自振請求

自振請求金額の計算方法を指定する。

０：預金口座振替請求書出力時の売掛残金（現在残高）
１：検針時（検針で締める人）または請求書出力時（請求書で締める人）の請求額。但し、請求額確定後に、自振での入金があれば、その分は差し引く。

### (10)自振停止

自振を一時的に停止する場合に使用します。
０：正常な状態
１：停止状態。現金で入金するように求められます。

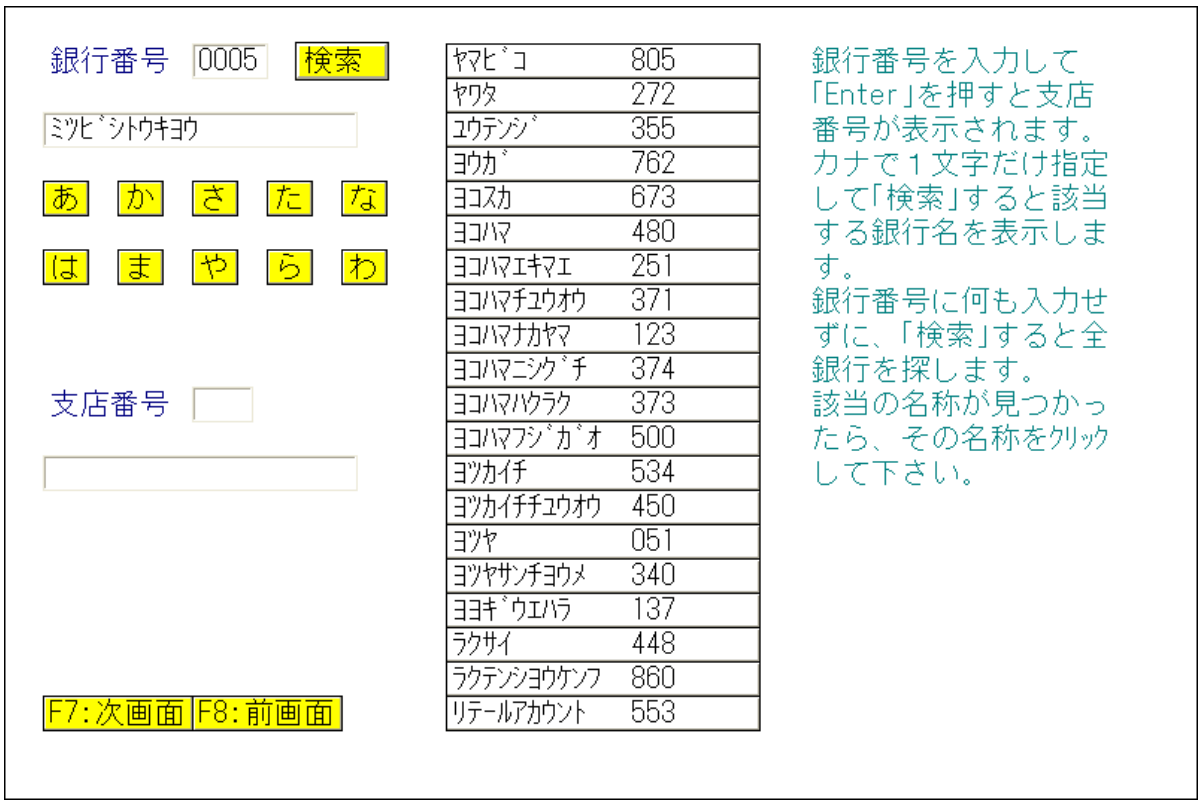
振り込み、現金入金などがあれば、リセットされます。

**(11) 自振非処理**

０：通常の状態
１：この得意先には、自振の入金処理を行いません。
（請求管理だけ行い、販売管理に使用したくないときに設定）

［銀行番号の検索］

［検索ボタン］をクリックすると、次のような画面が表示され、
銀行番号、支店番号が検索できます。




「あ」をクリックすると、ア行の銀行名が表示されます。
その中の銀行名（カナ表示）をクリックすると、支店名が表示されます。該当の支店名をクリックすると、選択されます。

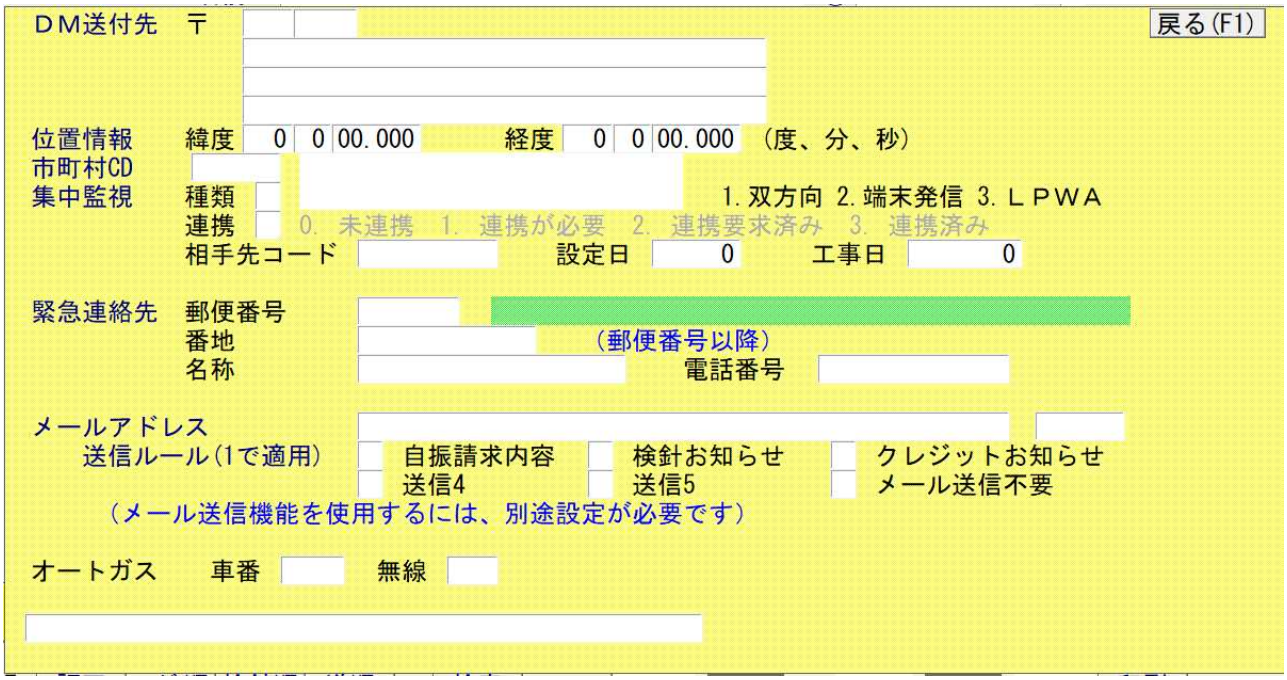
銀行番号に、数字４桁を入力して［検索］をクリックしても同様のことが行えます。

［情報の削除］

自振マスタの内容を削除して、［現金］入金にしたいときに［削除］をクリックします。
この場合は、自振マスタの内容を復活させることはできません。

削除　自振マスタの登録内容を消去します。

［補助マスタ］




### (1) DM送付先

得意先コードとは別に、郵便物を送付する先を得意先コードで指定できます。この指定があると、宛名はこのコードのマスターから参照されます。従って、ＤＭ送付用にもう１つのマスタをつくる必要があります。（業務を０にすると、顧客として数えません）

### (2) 位置情報

インターネットの住所検索など得た、得意先の位置情報を、緯度経度で登録します。
この値が登録されていると、「得意先状況問合せ」で［地図検索］を行ったときに、正確な地図が表示されます。

### (3) 集中監視

種類：
相手先コード：コードが異なる場合に、集中監視システムで使用している得意先コードを指定します。

設定日：ＮＣＵの設定日
工事日：ＮＣＵの工事日

### (4) 緊急連絡先

得意先の、実家や会社などの緊急時の連絡先住所を登録できます。

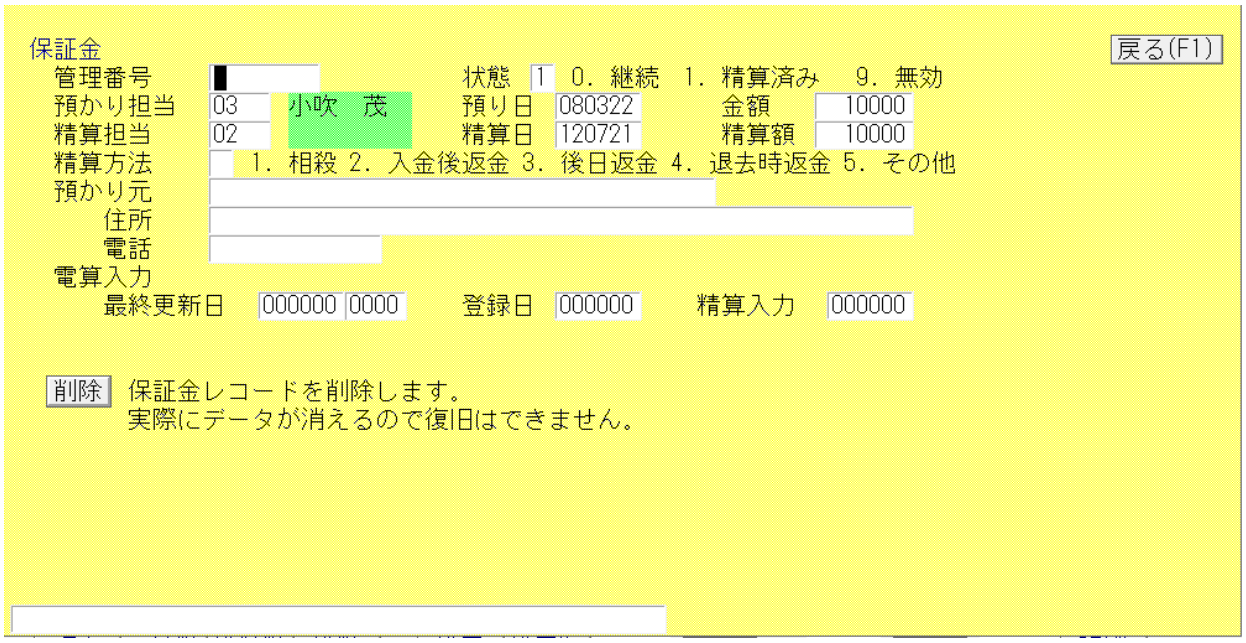
### (5) メールアドレス

各種のお知らせを、電子メールで送りたいときに使用します。
登録してあると、「得意先状況問合せ」画面から、メールを送信することができます。

◎実際に使用するには、メールを送信できる環境を作る必要があります。

### (6) オートガス　　（未使用）

［保証金］



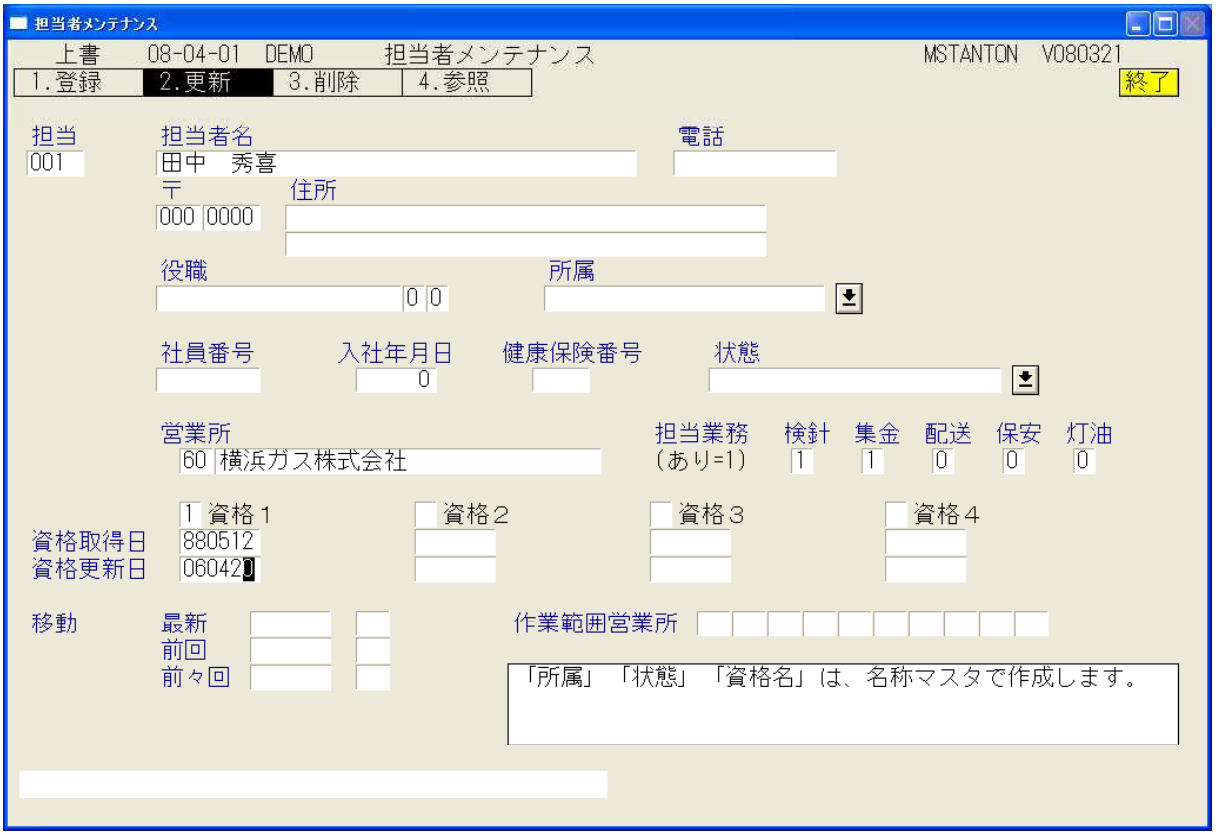

## (01)保証金

・管理番号　　８桁の管理番号を登録できます。
・状態　　０：通常の状態　　１：精算してある状態
・預かり担当　受領したときの担当者コード
・預かり日　　預かった日付
・金額　　保証金額
・精算担当　　精算を行った担当コード。未精算ならば空欄。
・精算日　　精算を行った日付
・精算額　　保証金から精算した額。
・精算方法　　１から４を選択。０は、未精算の状態
・預かり元　　親元などから預かっているとき、その名称。

電算入力：更新、登録、精算を行った伝票をいつ入力したのかを示します。
　　表示のみで訂正はできません。

［削除］：このボタンを押すと、データがなくなり、保証金も存在しなくなります。
　　間違い入力の訂正に使用します。

# ２．担当者マスター




(1) 担当

担当者を４桁のコードで入力します。
検針伝票、配送伝票、売上／入金伝票の入力では担当者コードの入力は必須なので、１件は、必ず作成して下さい。

| X | X | X | X |
|---|---|---|---|

（例）　００１：田中　秀喜
　　１０１：諸口売上

帳票の出力範囲や分類方法の指定に使われる事も多いので、それを考慮して決める。

(2) 担当者名

伝票、帳票の多くに印刷されます。
漢字２０文字で入力しますが、前１０文字程度が表記されます。

| X | X | X | X | X | X | X | ・・・・・・・・・ | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

(3) 電話、住所

任意に入力して下さい。

(4) 役職

社内の任意の取り決めで入力して下さい。システムでは使用しません。
役職欄の、右にある１桁ｘ２の枠は、将来用です。

### (5) 所属

「名称マスタ」で定義しておきます。
担当者の所属を規定します。
システムでは使用しません。

### (6) 社員番号・入社年月日・健康保険番号

それぞれの桁数で入力すれば良いです。
特にプログラムでは使用していないので扱いは使用者に任されます。

### (7) 状態

「名称マスタ」で定義しておきます。
現在の担当者の状況を示します。
システムでは使用しません。

### (8) 営業所

担当者の所属営業所を示します。
システムでは使用しません。

### (9) 担当業務

受け持っている業務の範囲を示します。
検針、配送などの仕事を行う人を特定します。登録がなくとも作業は行えますが、検針順を付け直すときなどに、自動表示されません
例えば、検針＝１にしておかないと、検針データの作成は行えません。

### (10) 資格取得日

資格は、１人に４種まで登録できます。
資格の種類は、１桁のコードで表します。このコードは、「名称マスタ」で登録しておきます。
資格の取得日と、更新日を登録することができます。
システムでは使用しません。

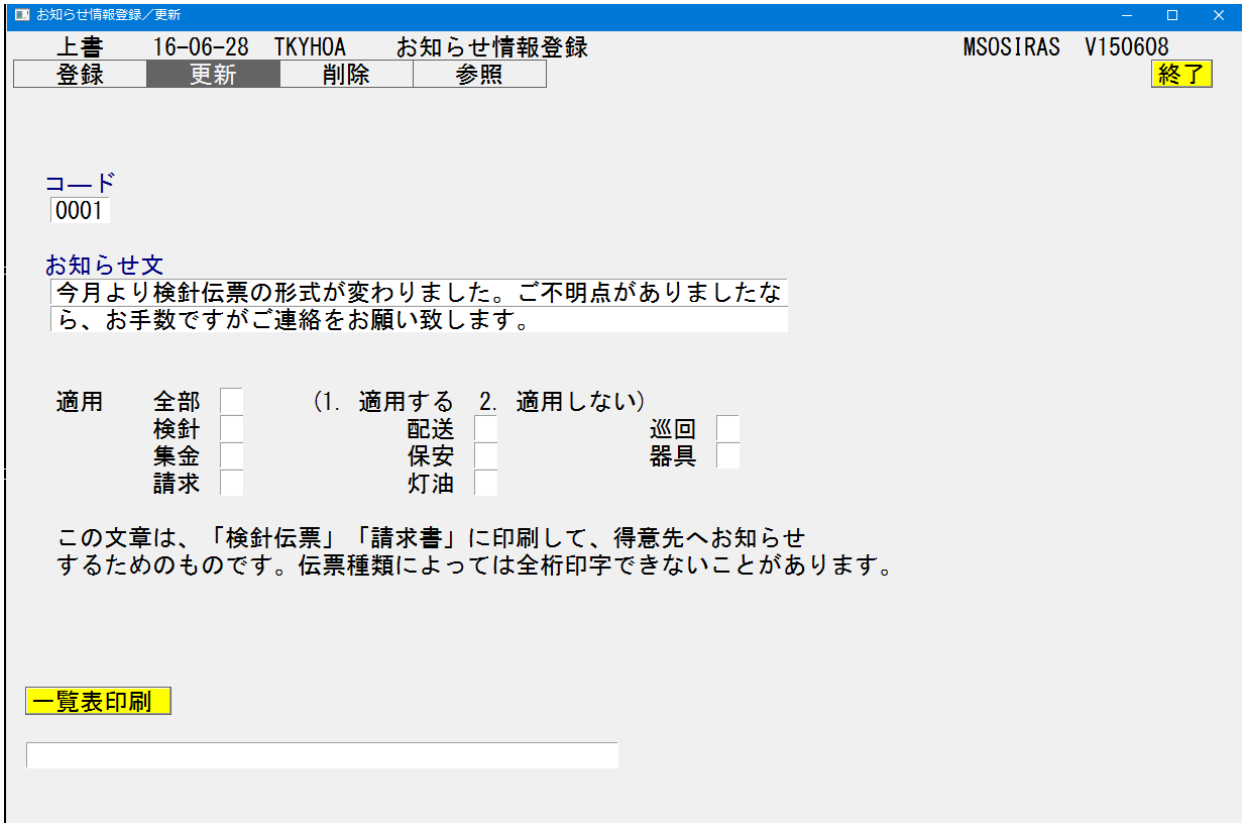
### (11) 移動

過去３回までの移動状況を記録します。日付と、営業所番号を登録できます。
システムでは使用しません。

### (12) 作業範囲営業所

ここで指定した営業所のデータしか参照できなくなります。何も入力がないと、所属営業所のデータだけが参照できます。（2008年３月現在未使用）

# ３．お知らせ情報




## (1) コード

４桁の英数字

| X | X | X | X |
|---|---|---|---|

９ＸＸＸ　は特別な意味があるので、その目的で使用して下さい。(5) を参照

## (2) お知らせ文

検針伝票、配送伝票、請求書のお知らせ欄に印刷することができるが、伝票の大きさによっては後部が切れることがあるので、文字数を考えて入力する。
桁数は、全角で６０文字。

| X | X | X | X | X | X | X | ・・・・・・・・・・ | X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (3) 適用

どの業務で使用するお知らせ文かを、規定することができます。
通常は、「全部」を選びますが、目的で分けると便利です。

## (4) 一覧表印刷

登録されている全件を印刷したいときに使用します。
「マスターリスト」メニューにあるプログラムと同一です。

(5) 特別コードの規定値

９００１：ＮＴＴテレコン用の圧着葉書で、固定のお知らせ文を作るときに使用

以下は初期値があります。変更は可能ですが、文字数に注意して下さい。

９００２：請求明細に「＊」のあるものは軽減税率対象です。

９００３：お振り込みは、下記の口座にお願い致します。

９００４：※振込の際お手数ですが、ご名義の前にお客様コード番号を入れてお振り込みください。
または
※振込手数料は、お客様のご負担でお願い致します。

９００５：上記金額を口座振替でお支払い頂きます。

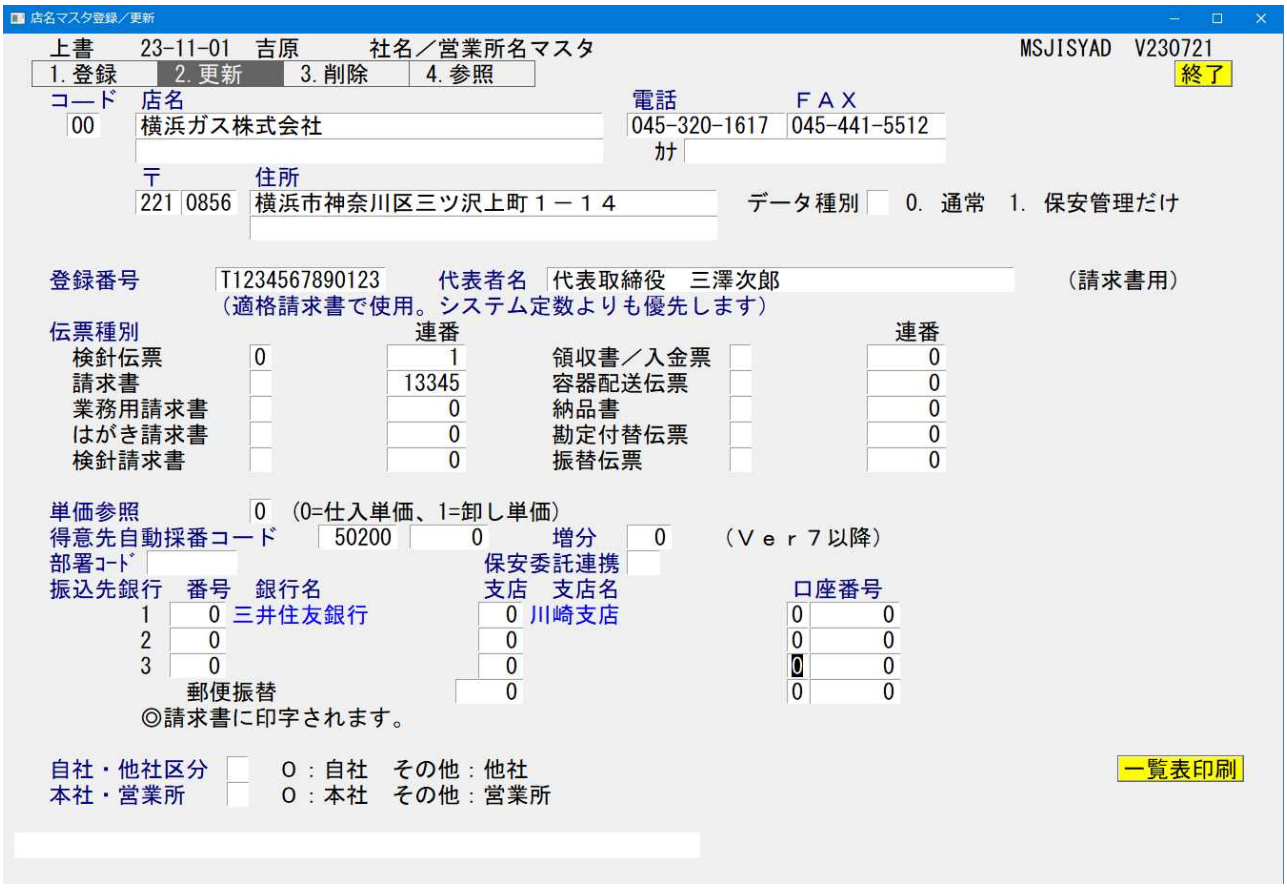
９００６：休日の場合は翌営業日の振替になります。

９００７：上記金額をクレジット決済でお支払い頂きます。

９００８：クレジット会社の通知をご覧下さい。

９００９：上記金額を別途お送りするコンビニ納付書にてお支払い頂きます。

# ４．社名／営業所名マスター




## (1) コード

得意先コードの左２桁、営業所コードを入力する。
営業所コードが多い場合、店名以下の項目が同じならば最大の営業所コードを入力しておけばよい。

| X | X |
|---|---|

## (2) 店名

店名または営業所名を漢字２０文字で入力する。
検針伝票、配送伝票、請求書、預金口座振替請求書などに印刷される。

| X | X | X | X | X | X | X | ・・・・・・・ | X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (3) 店名（カナ）

現在未使用。

## (4) 電話

英数字で１３桁。
検針伝票、配送伝票、請求書及び葉書印刷に印刷される。

| X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

(5) ＦＡＸ

英数字で１３桁。
請求書に印刷される。

| X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

**(6) 郵便番号・住所**

郵便番号は、ＸＸＸ－ＸＸＸＸの７桁で登録します。
住所は、全角２０字の２段で登録します。これは、社名／営業所名とともに検針伝票、配送伝票、請求書に印刷されます。

(7) データ種別

０．通常のＬＰＧ販売管理システムで使用します。
１．別システムである保安センターで使用します。

(8) 登録番号
適格請求書に印字する会社の登録番号

| T | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

Ｔ＋１３桁

この登録は、システム定数にもあります。複数の登録番号を管理したい場合には、こちらに登録します。

(9) 代表者名

主に請求書に印字する会社の代表者名などを登録します。印字の必要がなければ空白にします。
この登録は、システム定数にもあります。複数の代表者名を管理したい場合には、こちらに登録します。

例：　代表取締役　横浜一郎

**(10)伝票種別**

どの種類の伝票を使用しているかを規定する。標準伝票を使用する場合には、規定値＝０が使用されるので特に指定する必要はない。

①　種別　　複写伝票を使用することがなくなってきたので、現在は意味がありません。

②　連番　　それぞれの伝票に印刷される伝票ナンバーをいれる。
通常０から開始されるので何も入力しなくてよい。
各伝票１枚印刷毎に＋１される。

| X | X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|

０００００００～９９９９９９

(11)単価参照　　（未使用）

**(12)得意先自動採番コード**

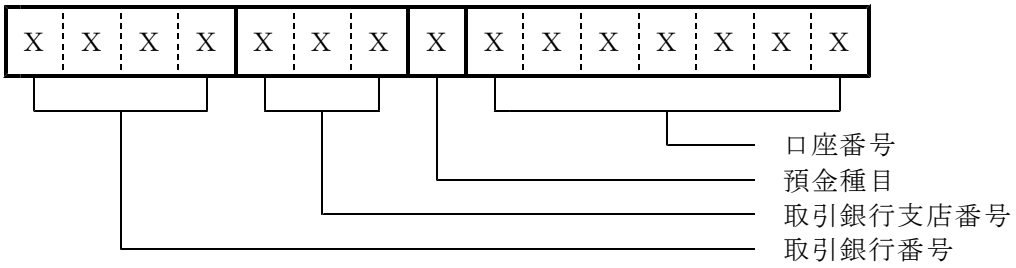
この機能を使用すると、新しい得意先を登録するときに、自動的に連番がつけられます。
例えば、
　　００００３７　／　０
となっている場合には、新しい得意先には、営業所番号２ケタプラス連番で、
　　０７－０００３８
のように番号が付けられます。
最初の数値が０の場合には、自動採番されません。

(13)部署コード　　（未使用）

(14)保安委託連携　　（未使用）

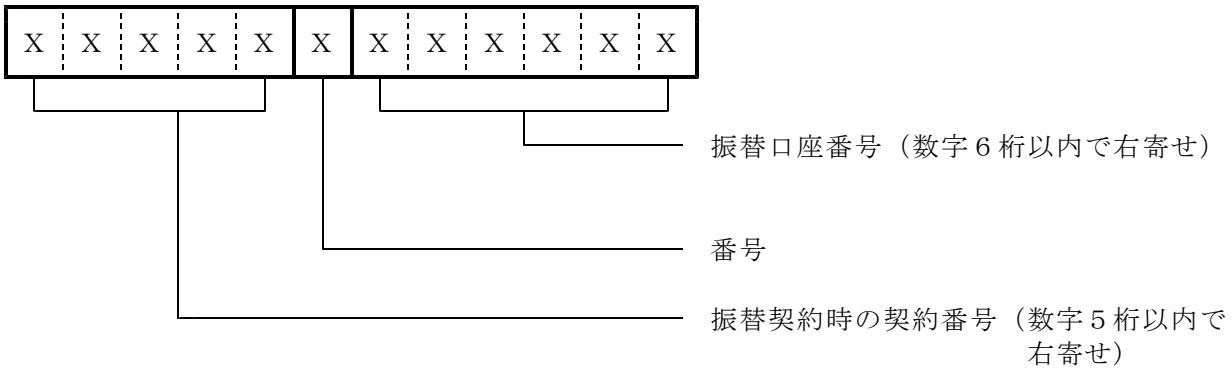
**(15)振込先銀行**

振込先銀行の情報を入力する。
３銀行まで指定できる。
請求書の当社取引銀行の欄に印刷される。




**(16)郵便振替**

郵便振替用紙を使用する場合に指定する。




**(17)自社・他社区分**

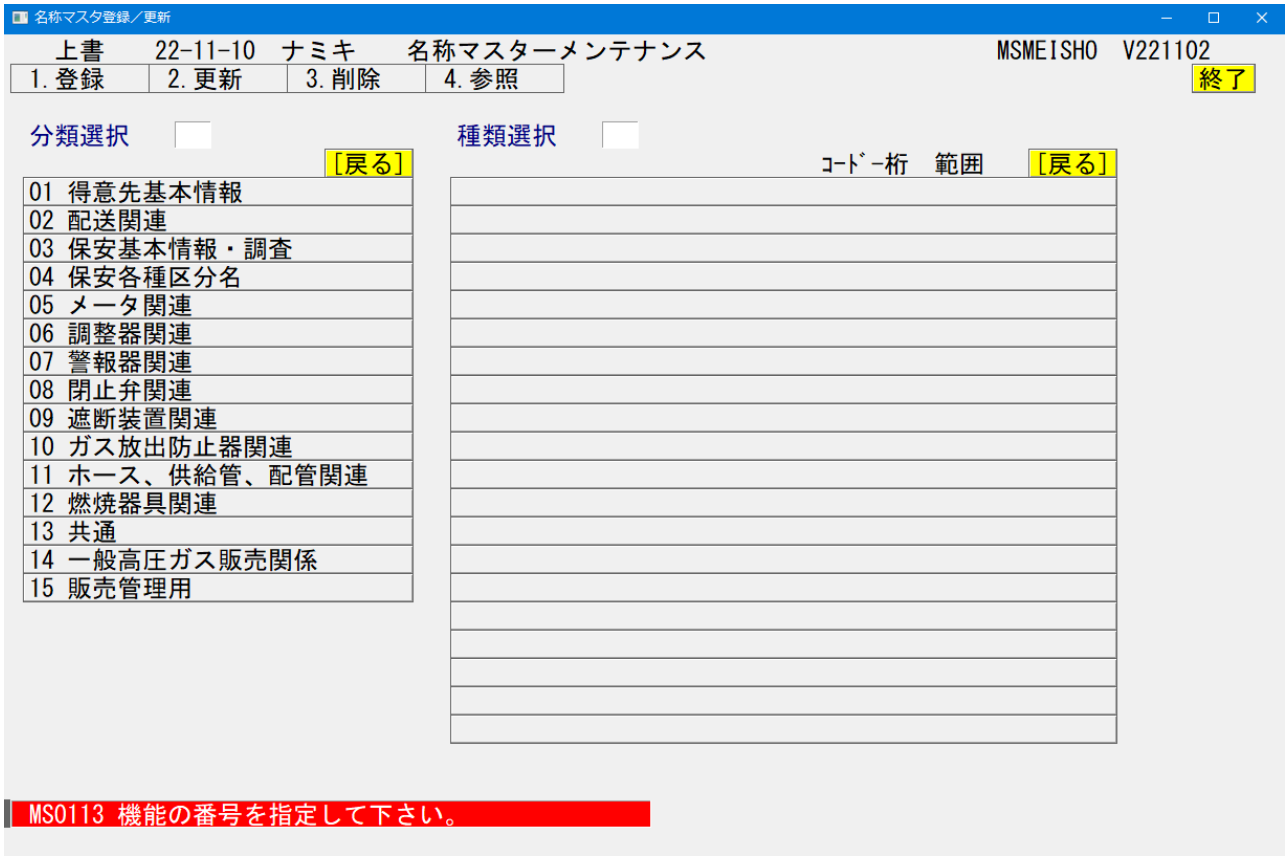
いくつも営業所／事業所コードがあるときに、その番号を何の目的で使用しているかわかるように区分コードをつけています。
実際には、業務に影響はしません。

# ５．名称名マスター

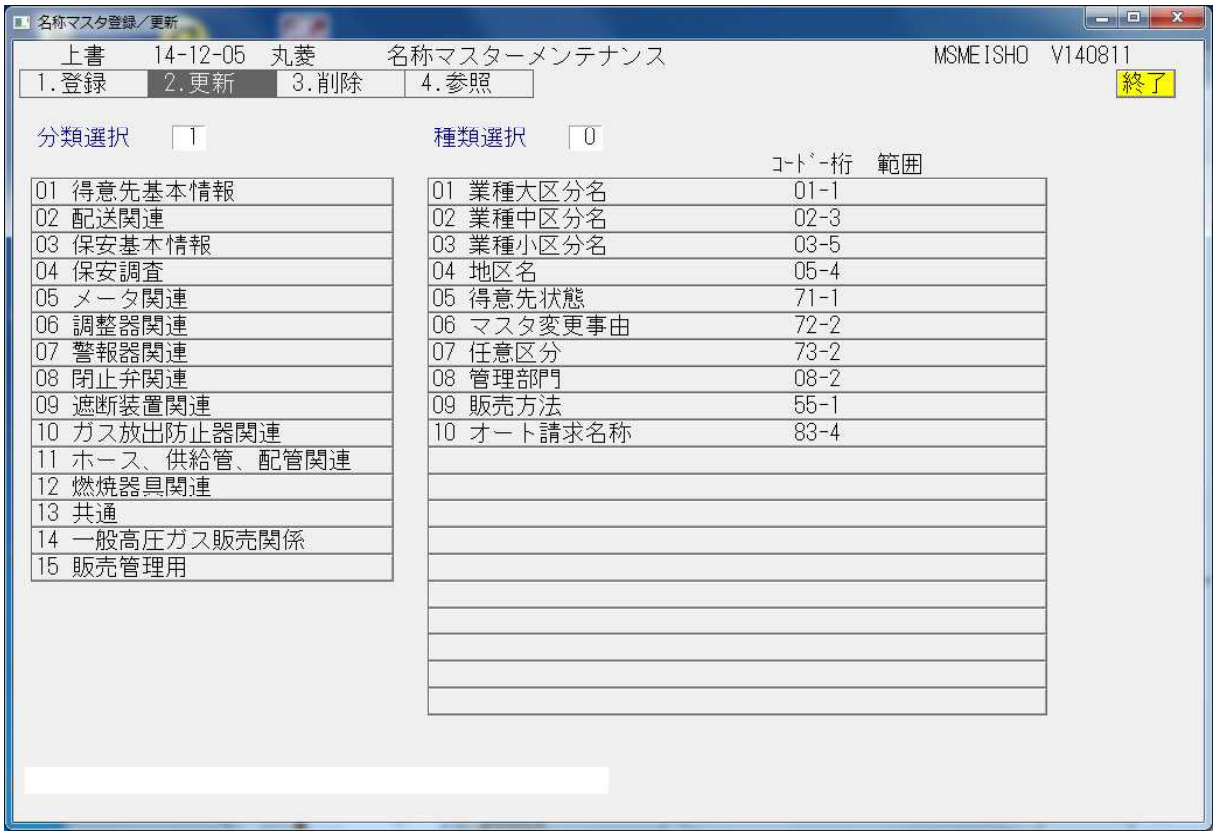
本システムで使用する様々な名称コードです。
以下のものが使用できます。
コードに対して登録する文字数は、全角で２０字までです。実際に使用する画面／帳票により後部が切れることがあります。

分類と、細目を組み合わせて使用します。

(a) 初期画面



(b) 選択画面




機能の選択
１．登録　　新しく「名称コード」と「名称名」を登録します。
２．更新　　すでに登録されている「名称コード」を指定して、「名称名」を変更します。
３．削除　　登録されている「名称コード」を削除します。
４．参照　　登録されている「名称コード」「名称名」を確認します。

名称メニューリスト

１．得意先基本情報

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 業種大区分名 | 1 | X | 業種の大区分 |
| 業種中区分名 | 3 | ＸＸＸ | 業種の中区分（実際には４桁で使用） |
| 業種小区分名 | 1 | X | 業種の小区分（実際には５桁で使用） |
| 得意先状態 | 1 | X | 得意先の現在の状況（使用中、空き室など） |
| マスタ変更事由 | 2 | ＸＸ | 得意先を変更した理由 |
| 任意区分 | 2 | ＸＸ | 種々の分類に使用。 |
| 管理部門 | 2 | ＸＸ | 社内の部門名称 |
| 販売方法 | 1 | X | 体積販売、重量販売、その両方 |
| オート請求名称 | 4 | ＸＸＸＸ | 未使用 |
| | | | |

２．配送関連

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 容器所有者 | 2 | ＸＸ | 容器の所有者の分類 |
| 容器使用者 | 2 | ＸＸ | 容器の使用者の分類 |
| | | | |

３．保安基本情報・調査

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 設備区分名 | 1 | X | 設備の大区分名（未使用） |
| 設備名 | 2 | ＸＸ | メーター、調整器など |
| 微少漏洩検知装置 | 2 | ＸＸ | 「圧力監視」「流量検知 |
| 調査点検区分 | 1 | X | 保安調査種類 |
| 調査点検結果 | 1 | X | 「一般調査」など点検結果の種別 |
| 調査点検名 | 2 | ＸＸ | 検針、配送時調査の項目 |
| 調査点検種類（新） | 2 | ＸＸ | |
| 調査方法 | 1 | ＸＸ | |
| 改善方法 | 2 | ＸＸ | |
| 書面種類 | 1 | X | |
| 受領方法 | 1 | X | |
| 取引条件 | 2 | ＸＸ | |
| | | | |

４．保安各種区分名

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 大規模店該当 | 1 | X | 「する」「しない」など |
| 豪雪地震対策 | 1 | X | 「該当する」「しない」など |
| 用途区分 | 1 | X | 「家庭用」「業務用」など |
| 供給区分 | 1 | X | 「戸建て」「集合」など |
| 施設区分 | 1 | X | 「個別住宅」「共同住宅」「学校」．．． |
| 集合区分 | 1 | X | 「である」「でない」など |
| 容器形態 | 1 | X | 未使用 |
| 家屋形態 | 1 | X | 「自宅」「貸家」など |
| 建築区分 | 1 | X | 「鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ」「木造」など |
| 世帯区分 | 1 | X | 「一般世帯」「一人住まい」．．． |
| 適用法令 | 1 | X | 「液化法」「高保法」など |
| 防蝕処置名 | 1 | X | 防蝕処置の種類名 |
| 昇温防止名 | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 転倒防止名 | | | |
| 設備工事名 | | | |
| 洪水浸水区域 | | | |
| | | | |

５．メータ関連

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| メーター種類 | 2 | ＸＸ | 「マイコン」、「Ｓ」など |
| メーターメーカー名 | 2 | ＸＸ | 「リコー」「矢崎」など |
| メーター入口 | 1 | Ｘ | 「左」「右」など |
| 種類２ | 1 | Ｘ | 「基本型」「集中監視対応」など |
| メータ設定区分 | 1 | Ｘ | 「１」「２」「Ｌ」など |
| 警報器連動区分 | 1 | Ｘ | 「接続」「併設」など |
| 連動遮断装置 | 2 | ＸＸ | （未使用） |
| 集中監視種別 | 2 | ＸＸ | 「双方向」「端末発信」 |
| | | | |

６．調整器関連

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 調整器種類 | 1 | Ｘ | 「単段式」「自動切替一体」など |
| 調整器メーカー名 | 2 | ＸＸ | 「リコー」「桂」など |
| 調整器と供給管接続形態 | 2 | ＸＸ | （未使用） |
| 調整器の保有機能 | 1 | Ｘ | 「発信」「遮断」など |

７．警報器関連

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 警報器メーカー名 | 2 | ＸＸ | 「新コスモス電機」「矢崎」など |
| 警報器義務区分 | 1 | Ｘ | |
| 警報器種類 | 1 | Ｘ | |
| 警報器所持区分 | 1 | Ｘ | |
| 警報器遮断連動 | 1 | Ｘ | |
| 警報器機能 | 1 | Ｘ | |

８．閉止弁関連

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 閉止弁メーカー | 2 | ＸＸ | |
| 閉止弁種類 | 2 | ＸＸ | |

９．遮断装置関連

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 遮断装置メーカー名 | 2 | ＸＸ | 「リコー」「矢崎」など |
| 遮断装置種類 | 2 | ＸＸ | |

１０．ガス放出防止器関連

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 放出防止器メーカー名 | 2 | ＸＸ | 「ニッケイ」「ハマイ」など |
| 放出防止器種類 | 2 | ＸＸ | |

１１．ホース、供給管、配管関連

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 埋設管種類 | 2 | ＸＸ | 「地中埋設」「コンクリート貫通」 |
| ホース種類 | 2 | ＸＸ | 集合用．．． |
| 供給管、配管種類 | 2 | ＸＸ | 白管、フレキ管．．． |
| 絶縁継手位置 | 2 | ＸＸ | ＰＳ内．．． |
| 立ち上がり部のうち床下部位置 | 2 | ＸＸ | １Ｆ室内、ピット内．．． |
| 立ち上がり部位置 | 2 | ＸＸ | ＰＳ内．．． |
| 埋設管継ぎ手 | 2 | ＸＸ | 白継ぎ手．．． |
| 地下室・地下ピット | 1 | Ｘ | あり、なし |
| ホース追加機能 | 1 | Ｘ | |
| ホース設置供給／消費 | 1 | Ｘ | 高・供給．．． |
| | | | |

１２．燃焼器具関連

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 器具名称 | 2 | ＸＸ | 保安管理用の燃焼器具名称。器具情報の登録で使用します。 |
| メーカー名 | 2 | ＸＸ | 「リンナイ」、「パロマ」など。器具情報の登録で使用します。 |
| 燃焼器区分 | 2 | ＸＸ | 「開放」「ＣＦ」など |
| 給排気方式 | 2 | ＸＸ | 「窓」「換気扇」など |
| ガス栓種類 | 2 | ＸＸ | 「ヒューズ」「コンセント」など |
| 接続管名 | 2 | ＸＸ | 「ゴムホース」「金属フレキ」など |
| 指摘項目 | 2 | ＸＸ | ガス栓基準．．． |
| 設置場所 | 2 | ＸＸ | 台所．．． |

１３．共通

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 特定区分名 | 1 | Ｘ | |
| エネルギー区分名 | 1 | Ｘ | ガス、灯油などエネルギー名 |
| センター名 | 2 | ＸＸ | 配送委託先名 |
| 商品売上分類 | 2 | ＸＸ | 「営業支援」で器具等の大分類をするために使用 |
| 商品大分類名 | 2 | ＸＸ | 「ガス器具」、「石油器具」など。商品コードの先頭２文字になります。 |
| 商品区分名 | 4 | ＸＸＸＸ | 「給湯器」、「風呂釜」など。「器具等販売実績表」で集計されます。売上を区分けすることにも使用します。 |
| メモ書き用名称 | 2 | ＸＸ | メモ入力を簡易にする |
| 単位名称 | 2 | ＸＸ | 請求書に印刷する単位名称 |
| 開発営業 | 2 | ＸＸ | 「営業支援」用 |
| 保安業務 | 2 | ＸＸ | 「営業支援」用 |
| 業務 | 2 | ＸＸ | 「営業支援」用 |
| 所属 | 2 | ＸＸ | |
| 稟議理由 | 2 | ＸＸ | |
| 担当者状態 | 1 | Ｘ | 「通常」、「休職」など |
| 担当者資格 | 1 | Ｘ | 「販売２種」など |
| 歳暮・中元 | 2 | ＸＸ | |
| 契約状況 | 2 | ＸＸ | |

１４．一般高圧ガス販売関係

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| 容器名称 | 5 | ＸＸＸＸＸ | |
| 瓶種別 | 1 | Ｘ | |
| 予算管理補助設定 | 2 | ＸＸ | |
| 売上分類補助設定 | 2 | ＸＸ | |
| | | | |

１５．販売管理用

| 名称名 | 桁数 | 記述型式 | 用途 |
|---|---|---|---|
| ガス料金名 | 4 | ＸＸＸＸ | |
| 入金方法 | 1 | Ｘ | |
| 入金区分 | 1 | Ｘ | |
| 支払区分 | 1 | Ｘ | |
| 適用区分 | 1 | Ｘ | |
| | | | |

以下に示すのは、システムの固定コード及び参考例です。
初期値はシステムで提供されていますので、「一覧表」などで確認して下さい。

### (1) 業種区分名　　（固定）

| X |
|---|

０：一般家庭
１：業務用（２、３以外）
２：３号メーター以上（従業員１０人未満）
３：３号メーター以上（従業員１０人以上）
４：工業用
５：簡易ガス　　(05.04.02追記)
６：その他　　器具のみ、灯油のみなどの販売顧客に使用する。
Ａ：簡易ガス　他は０と同じ
Ｂ：簡易ガス　他は１と同じ　　（未使用）　　(05.04.02追記)
Ｃ：簡易ガス　他は２と同じ
Ｄ：簡易ガス　他は３と同じ

### (2) 業種中区分名　　（一部固定）

| X | X | X |
|---|---|---|

始めの１桁は、業種区分コードを指定します。
次の２桁は任意です。

以下のコードは、固定の意味です。

０００：一般住宅（戸建て）
００１：集合住宅
００２：２世帯住宅　　(05.04.02追記)　未使用
２ｘｘ：業務用（３号以上従業員１０人未満）
３ｘｘ：業務用（３号以上従業員１０人以上）
４ｘｘ：工業用
５０１：簡易ガス（戸建て）　　(05.04.02追記)　未使用
５９２：簡易ガス（集合）　　(05.04.02追記)　未使用
６００：重量販売
６０１：プロパン重量売り　　(05.04.02追記)　未使用
６０２：ブタン重量売り　　(05.04.02追記)　未使用
６０３：オートガス　　(05.04.02追記)　未使用
６１０：灯油のみ販売
６２０：器具のみ販売
６３０：オートガス　　[603に移行]
６４０：ガス卸し
Ａ００：簡易ガス（戸建て）
Ａ０１：簡易ガス（集合）

### (3) エネルギー区分名　　（固定）

| X |
|---|

└┘

１：ＬＰＧ
２：都市ガス
３：灯油
４：その他

**(4) 調査点検名**　　（固定）

| X | X |
|---|---|

０１：火気との距離
０２：腐蝕防止
０３：転倒防止
０４：昇温防止
０５：腐蝕・割れ
０６：ＬＰガス適合
０７：危険標識
０８：供給配管
０９：ゴム管
１０：高圧ホース
１１：低圧ホース
１２：屋外ホースバンド
１３：マイコンⅡ微少漏洩

**(5) 商品区分名**　　（一部固定）

| X | X | X | X |
|---|---|---|---|

任意
固定
０：ガス
１：器具
２：
３：工事・修理
４：石油・軽油・ガソリン等
５：リース

次のコードは、システムで固定ですので、変更／削除はしないで下さい。

０１００　：　ＬＰガス重量売り
０２００　：　ＬＰガス㎥売り
（但し、検針伝票、ハンディからの入力では、使用しません。
「売上伝票」として入力するときに参照されます。）
４１００　：　灯油
４２００　：　軽油

上記の固定コード以外は、任意に使用できます。
商品マスターの登録を行う際に、上記のコードを入力して下さい。

標準的に提供される商品区分マスターがあります。おおまかに次のようになっていますから、変更／追加するときは分類を考慮してコードを決定して下さい。

０００００　～　　ＬＰガス
１０００　　固形燃料
１０１０　～　１４９９　　ガス器具
１５００　～　１５９９　　石油器具
１６００　～　１６９９　　サニタリー
１７００　～　１８９９　　電気器具
１９００　～　　その他器具

| | |
|---|---|
| ３０００　～ | 工事・修理 |
| ４０００　～ | 石油 |

**(6) 供給形態**　　（固定）

| X |
|---|

０：シングルまたは切替えなし
１：手動切替
２：自動切替
３：予備設置あり

**(7) 状態**

「休止中」などの状態を、得意先に設定するのに使用する。［得意先マスター］の画面で、変更／参照できる。

| X |
|---|

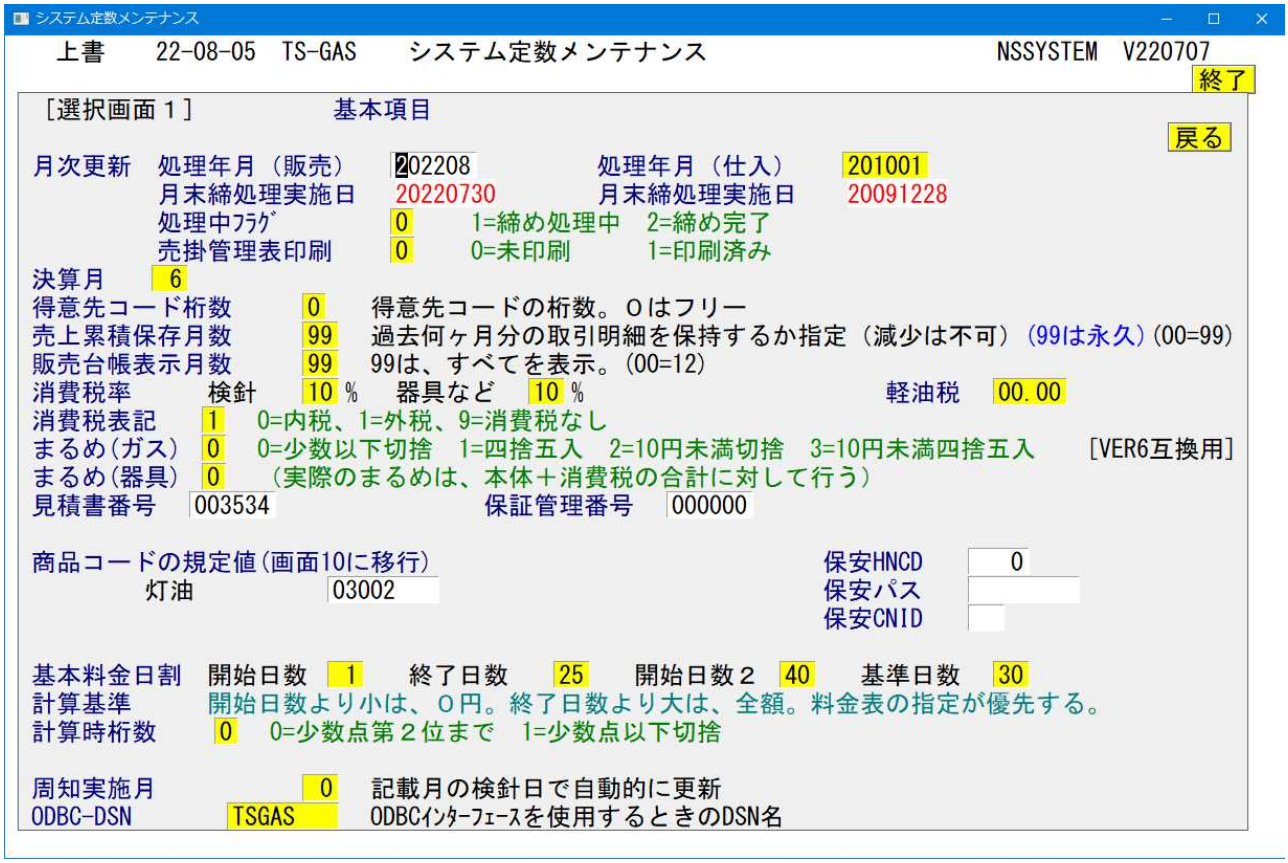
０～９：任意
Ａ～Ｚ：システムで使用するので固定
　　Ｎ：新設の得意先（マスタ登録未完了）
　　Ｏ：新設の得意先で空き家
　　Ｕ：他社転換　　（05.04.02追記）
　　Ｖ：引越し得意先（転出）
　　Ｗ：一時止め（休止中）
　　Ｘ：滞納止め
　　Ｙ：引越空き家
　　Ｚ：解約

# ６．システム定数

１０種類の大項目があります。

１．規定値、税率、初期値
２．配送予測計算参照値
３．請求関連設定値
４．プログラム実行制御用フラグ１
５．プログラム実行制御用フラグ２
６．プログラム実行制御用フラグ３
７．プログラム実行制御用フラグ４
８．ハンディ用規定値
９．ハンディ用規定値２
１０．商品コードの規定値

## 6．1　規定値、税率、初期値




### (1) 月次更新

処理年月（販売）：販売管理で使用の、現在のコンピュータの処理年月を示します。
「月末締め処理」で＋１されますので、システム開始時にのみセットします。
月末締処理実施日：月末締め処理を実施した日付です。変更できません。
処理中フラグ　　：月末締め処理の進行度合いです。（異常終了時のリカバリに使用します）

処理年月（仕入）：仕入管理で使用します。

### (2) 決算月

自社の決算月を、０１から１２で指定します。（標準システムでは未使用）

決算単位で出力する帳票で使用します。例えば、３月とすると、４月から翌年の３月までが、１年という単位になります。

### (3) 得意先コード桁数

得意先コードの桁数を、特別に既定したいときに使用します。１～９。
０は、１０桁を使用することを前提としますが、１０桁以内であれば何桁でもかまいません。

### (4) 売上累積保存月数

売上データの累積ファイルを再編成するときに、現在から何ヵ月分のデータを残こしておくか指定します。標準は、２４で最大は９９です。
ファイル領域の大きさと、アクセス時間を考えて決めて下さい。データ量が多いと、出力帳票の取り出しにそれだけ時間がかかります。
変更したいときは、必ずシステム・サポート担当者に相談して下さい。小さい値に変更することはできません。

００を指定すると、過去明細をすべて保存します。（再編成で削除しません）

販売台帳表示月数：画面に表示する明細の月数を指定します。標準は１２です。

### (5) 消費税率

検針　[ 5 ] %　　器具など　[ 5 ] %

検針と、検針以外の売上で使用する、消費税率を既定します。
変更すると、それ以降の売上入力時に、この税率が使用されます。
請求時に消費税を計算する場合は、「器具など」の税率を使用します。

０を指定したときは、税額計算は何も行いませんので、税抜き商品を売り上げたときは、税額を別途売上伝票で入力する必要があります。

［参考］　商品マスタでも税率を指定することができます。商品マスタで指定した場合は、そちらが優先します。

### (6) 軽油税

消費税を計算するときに、単価から軽油税をマイナスして実行します。
例：単価が１００円の場合で、軽油税が３２．１円

（１００－３２．１）×　消費税率　＝　軽油にかかる消費税

### (7) 消費税表記（規定は、税込み）

０：税込みとして表記します。
１：税抜き＋消費税として表記します。
９：消費税の表記はしません。（計算もしません）

◎得意先マスタで個別に指定があるときは、それが優先します。

### (8) まるめ（規定は、少数以下切り捨て）

ガス、器具などの売上時に計算する売上額をどのように丸めるかを指定します。単価が税抜きのときは、税込みにした上で丸めが行われます。１０円単位に丸めたときは、再度外税表記をした場合には、税額が一致しなくなることもあります。

０：小数点以下切り捨て

１：小数点以下四捨五入
２：１０円以下切り捨て
３：１０円未満四捨五入

◎料金表または、商品マスタで個別に指定があるときは、それが優先します。

### (9) 見積書番号

見積書プログラムで自動的に採番する「見積書番号」。この値に＋１して更新される。

### (10)保証管理番号

保証金の管理番号。（未使用）

### (11)商品コード規定値　　――＞別の画面に移行。互換性のために一部を残している。

商品コードを使用しない売上伝票の入力時に、規定値となる商品コードを登録します。これは、主に他社製品システムとの連携を考慮したものです。
灯油　　：ハンディからの売上入力時に使用します。

### (12)保安セター連携用ＩＤ（将来用）

WEBで、保安センターのデータと連携するためのＩＤとパスワード。

### (13)基本料金日割計算基準

検針時に、基本料金の日割り計算を行う場合にその基準値を指定します。
ここでの指定があっても、料金表で指定があれば、料金表が優先します。

開始日数　　００から３１
終了日数　　００から３１
基準日数　　００から３１　　（この値で割算して１日当たりを算出します）

前回検針日から、今回検針日までの日数が、開始日数から終了日数の間であるときに、日割計算が行われます。いずれかが０のときは、何も処理されません。

①開始日数未満　　：基本料金は０円
②開始日数≦検針日数≦終了日数：日割り計算する
③終了日数を超える　　：全額

### (14)計算時桁数

０：ガス料金計算時、基本料金、従量料金の中間の小数点以下を２まで保持して計算する。
１：途中で、少数以下を切り捨ててから計算する。

### (15)周知実施月

ここに１から１２の数値が入っていると、月次更新の際に、その月に検針が該当する得意先に対して、周知の実施日を自動更新します。

### (16)ＯＤＢＣ－ＤＳＮ

データベースの機能である、ＳＱＬ命令でのデータ検索を行う場合に使用します。
データベースに付けた、ＤＳＮを入力して下さい。
この機能を使用するには、
①データベースに機能追加が必要です。（無料）

②コントロールパネルで、ＯＤＢＣ設定が必要です。

◎サポート担当者に依頼して下さい。

# 6．2　配送予測計算参照値

### (1) 産気率

kgとm3の換算率を指定します。kgに対してこの数値を掛けると、m3が算出されます・

予測用　　：配送予測に使用します。
一般用変換率　：在庫管理に使用します。
簡易ガス変換率：未使用
ブタン用　　：　　［一部システム］
オートガス用　：　　［一部システム］

［月別］配送予測に使用する産気率を月単位に変化させることができます。１２ヶ月分を指定して下さい。（未使用）

### (2) 予測修正有無

検針データ入力で配送予測の修正を行うかどうかの指定をします。ハンディ、手入力、集中監視すべてに適用されます。

０：検針データで予測の修正を行う。
１：検針時の予測修正を行わない。
２：戸建てのみ修正する。
３：先延ばしをしない。
４：戸建てのみ先延ばしをする。

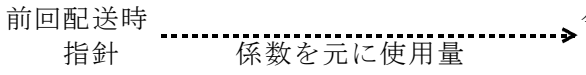
### (3) 集合親指針管理　　［07.01.29 追加］

配送時に親メータの指針を０で入力したときに、プログラムが自動的に指針を算出するかどうかを

指定する。

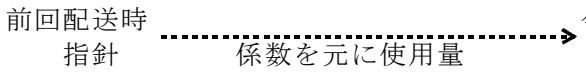
０：指針の自動計算は行わない。
今回の使用量は、予定量と同じであったとみなす。

１：係数を元に今回の指針を予測する。
①配送伝票入力時に、前回指針に予測した今回数量を加算して表示




●配送指針を更新する。

②検針数値を集合親に集める際に、子コードの検針数量から、今回数量を算出して検針指針とする。




●検針指針を更新する。

### (4) 食い込み管理

「容器配送伝票入力」で、次回の交換予定日を算出する際、交互交換の場合に、一定量で予測するか、予備側残量で予測するか指定します。

０：次回予定が例えば５０kgでも、今回の使用量が例えば６０kgならば、
予備側に１０kg食い込んでいるわけであり、次回は、４０kgを消費するとして予測します。
１：次回予定が例えば５０kgのときは、予備側への食い込みに関係なく、
次回も５０kgを消費するとして予測します。

### (5) 配送伝票考慮 [2008.04.23追記]

予測修正を行う際に、すでに配送伝票が発行されているものに対してどのように処置するから指定します。

０：配送伝票が発行済みでも、予測の修正は行います。
１：配送伝票が発行すみならば、予測の修正は行いません。

### (6) 配送伝票予定日数 [2008.04.23追記]

配送伝票を発行する際に、当日から何日先までの伝票を発行できるか規定します。
誤発行防止用です。例えば、１０と入力されていると、当日から１０日後までの伝票が発行できます。
００ならば、このチェックは行いません。

### (7) 配送予測修正割合

検針データで配送予定日が修正され、元々の予定日より先に延びる場合、その延ばす割合を指定します。標準は、切り替え無し：５０％　切り替え有り：８０％

例えば、もともとの交換予定日が、１２月１０日であったとき、予測計算で、１２月２０日と算出されたら、５０％の場合は、＋１０日ではなく、＋５日とし、１２月１５日を予定日とします。

### (8) １年以上の予測

予測で、算出される日付を１年以内にするかどうかを指定します。

０：最大で１年後になります。
１：制限はありません。

### (9) 配送コード桁数

旧システムまたは、他システムとの互換用です。
通常、得意先コードは、１０桁ですが、７桁での使用も可能にしています。

### (10) 集合親ＣＤ

他システムとの互換用です。
通常、集合の親コードと子コードは、最初の７文字が同じですが、この機能を使うと、コード番号が連続していなくても、処理可能です。但し、コード順に得意先を印刷したときなど、順番は、考慮しません。

### (11) 顧客バーコード　（ここでは規定しません。CODE39が規定値です）

### (12) 容器バーコード　[2013.03.追記]

配送用ハンディで使用する容器バーコードの桁数を既定します。
０は、１０桁を意味します。

### (13) １日使用量ランク、変動安全率

全量交換、一次側だけ交換の場合に、有効です。予測を行うタイミング（配送入力、検針入力（自動検針を含む）、再予測）のときに、最新の１日当たりの使用量に応じて、安全率を変動させます。
つまり、使用量が、ランク１以下のときは、ランク１の安全率を、ランク２以下のときは、ランク２の安全率を使用します。ランク４以上は、４の安全率を使用します。
（使用量が、０のときは、変更しません。）

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １日使用量ﾗﾝｸ | 1. | .20 | 2. | .50 | 3. | .60 | 4. | .80 | （単位は、m3） | 有効無効 | 1 |
| 変動安全率 | 1. | 90 | 2. | 85 | 3. | 82 | 4. | 80 | （単位は、%） | 変更日 | 080105 |

上の例で、１日当たり　0.2m3以下ならば、安全率は９０％
　　0.8m3以上ならば、安全率は８０％
になります。

### (14) ３年実績の作り方　[2008.04.23追記]

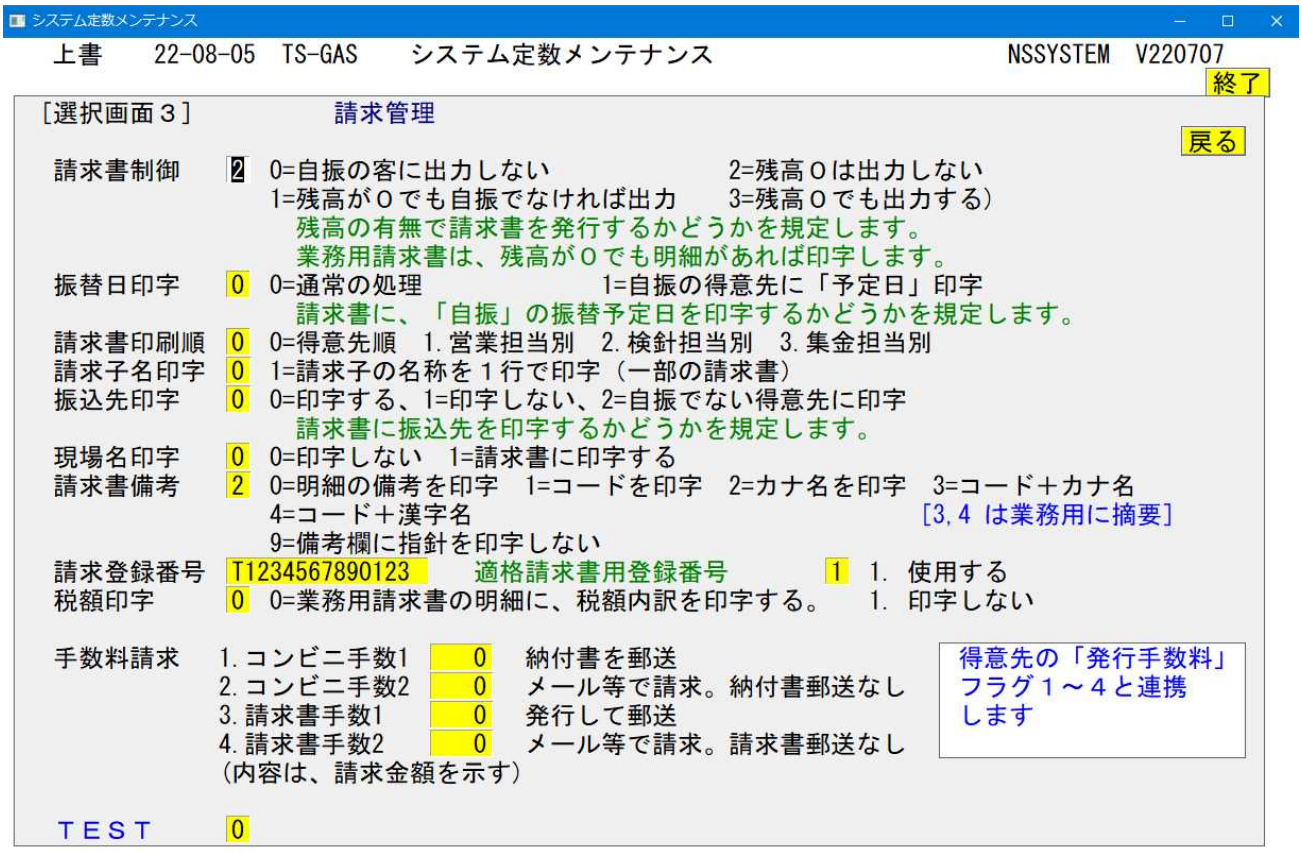
０：３０日当たりに換算します。
１：検針時の使用量をそのまま記録します。

### (15) 最大・最小管理　[2008.04.23追記]

予測計算では、係数に掛け算する倍率を求めていますが、その最大値をここで規定します。
例えば、１０倍を最大値としておくと、昨年が１、今年が３０となり、通常ならば３０倍となるケースでも、１０倍で計算します。

規定値は、最大が１０、最小が１／２です。

# 6．3　請求関連設定値




### (1) 請求書制御（標準は、２）

請求書、検針請求書を出力する対象を指定します。

０：残高が０でない客に対して請求書の出力を行う。
　自振の客に対しては、残高に関係なく出力は行わない。
１：残高が０でも、取引明細があれば請求書の出力を行う。
　自振の客に対しては、残高に関係なく出力は行わない。
２：残高が０でない客に対して請求書の出力を行う。
　自振の有無に関係なく請求書を出力する。
３：残高が０でも、取引明細があれば請求書の出力を行う。
　自振の有無に関係なく請求書を出力する。

（注）請求書とは、「通常の請求書」、「検針請求書」または「葉書請求書」を示します。
原則として請求は、月に１回であるため、いづれかの請求書を発行して、請求明細が、［締め］状態になると、その後の請求では、請求済みの明細は印刷されません。

「検針請求書」、「葉書請求書」が出力されるのは、未請求の検針データがある場合です。

### (2) 振替日印字

請求書に、「自振」の振替予定日を印字するかどうかを既定します。
一部の請求書フォーマットに対応しています。

### (3) 請求書印刷順

請求を連続で印刷するときに、その順番を既定します。
０：得意先順。
得意先のコード順に印刷します。
１：営業担当別
営業担当別で得意先のコード順に印刷します。
２：検針担当別
検針担当別で得意先のコード順に印刷します。
３：集金担当別
集金担当別で得意先のコード順に印刷します。

**(4) 請求子名印字**

一部の請求書印刷で、「親子」になっているときに、子の名称を、１行を使って印刷するかどうかを既定します。

**(5) 振込先印字**
請求書に、振込先を印字するかどうかを指定します。
０：印字する。規定値では印字します。
印字する内容は、「社名／営業所マスター」で登録します。
１：印字しない。
２：自振でない得意先に印字。（クレジット、コンビニ、郵振も含む）
請求書の下部に、振込先を印字しているケースに適用。
印字しない場合は、次の文言を印字する。
自振　　：口座振替によるお支払いです。
クレジット：クレジットによるお支払いです。
コンビニ　：コンビニ納付書によるお支払いです。
郵振　　：郵便振込用紙によるお支払いです。

**(6) 現場名印字**
売上伝票で、「現場名」（あるいは納品先）が入力されているときに、それを請求書に印字するかどうかを指定します。

０：印字しない。
１：請求書に印字する。明細が１行余分に印字されることになります。

**(7) 請求書備考**
親子関係のとき、請求書の備考欄に、何を印字するかを規定します。

０：得意先の名称をカナ文字で印字する。
１：得意先コードを印字する。

売上伝票で、備考欄に何か入力されていれば、それが優先します。

(8) 請求登録番号
「適格請求書」の届け出を税務署に行った後に利用できます。
登録番号は、Ｔｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘで登録します。

１．使用する　にした場合は、登録番号が請求書に印字されるとともに、適格請求書に対応した機能が実行されます。

(9) 税額印字
業務用請求書で、明細欄に、税額内訳を印字するかどうかを指定します。
０：印字する
消費税　８％　　○○○○○○円

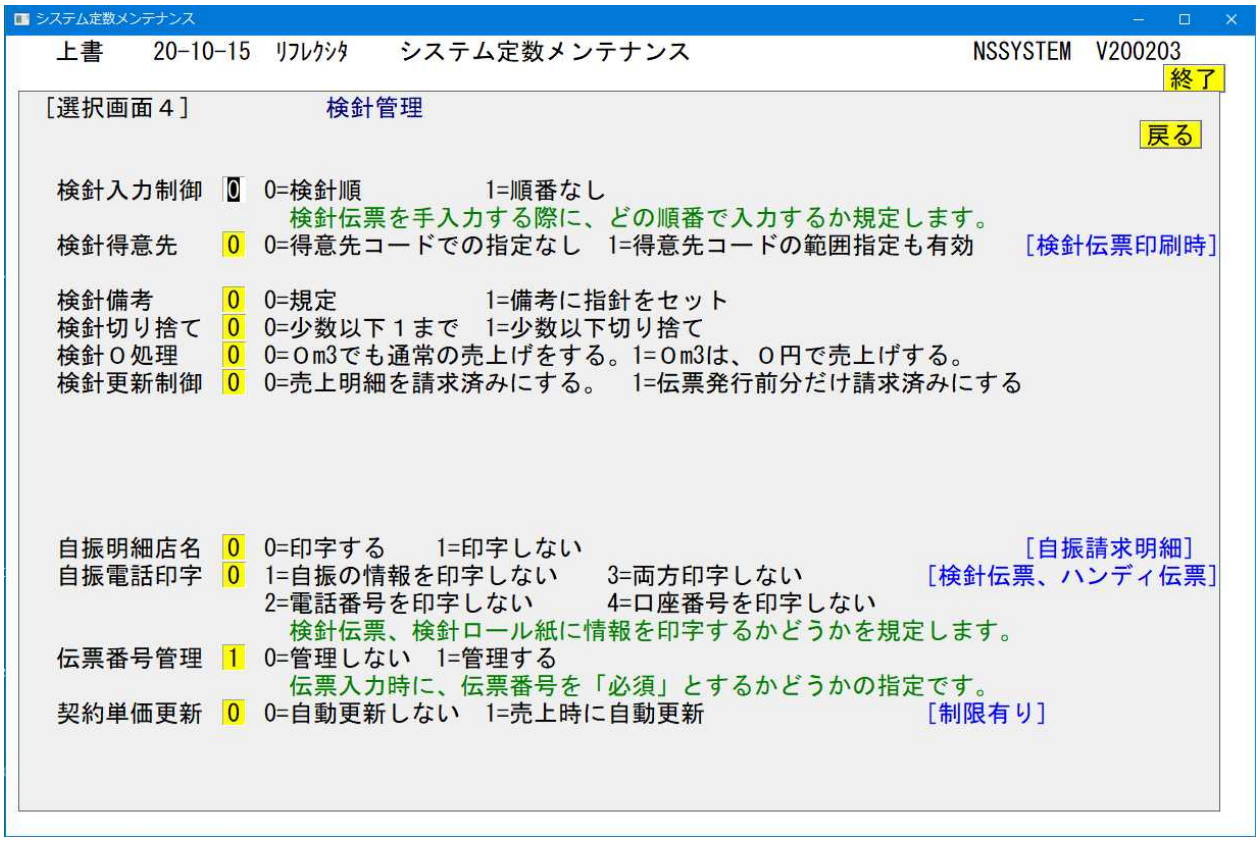
消費税１０％　　○○○○○○円
１：印字しない

(10)手数料請求
請求書発行時に、「発行手数料」を請求明細に加算して印字する金額を指定します。
得意先マスタの「発行手数料」フラグが「１」の場合に有効となります。

| | |
|---|---|
| コンビニ手数1 | 納付書を郵送する場合の手数料 |
| コンビニ手数2 | 納付書の郵送をしない（メールなど）場合の手数料 |
| 請求書手数1 | 請求書を郵送する場合の手数料 |
| 請求書手数2 | 請求書を郵送しない場合（メールなど）手数料 |

金額欄が０の場合は、何も適用されません。

# 6．4　プログラム実行制御用フラグ１




### (1) 検針入力制御（標準は検針順）

検針伝票の入力を行う際に、自動的に次の得意先（検針日、検針順）を呼び出すか、その都度得意先コードを入力するかを指定します。

０：検針順に次々入力。
１：常に得意先コードから入力。

### (2) 検針得意先

検針伝票の印字、検針ハンディデータ作成で、得意先コードの範囲指定を使用するかどうかを指定します。通常は、「検針日／検針順」だけで範囲指定をします。

０：使用しない。
１：検針順に加えて、得意先コードでの範囲指定も併用する。

### (3) 検針備考

検針時に、指針を「備考」欄に、9999.9 --> 9999.9　の形式で作成するかどうかを指定します。

０：既定。作成しません。
１：作成します。

### (4) 検針切り捨て（標準は、０）

集中監視からの検針値の少数点以下を使用するかどうかを規定します。

０：少数以下１位まで使用する。
１：少数以下は切り捨てる。

### (5) 検針０処理（標準は、０）

使用量がないときに、基本料金だけを売り上げるか否かを、指定します。

０：基本料金で売り上げる。
１：０円とする。

**(6) 検針更新処理**

**(7) 自振明細店名(標準は、０)**

自振の明細出力時に、明細書に店名を印字するか否かを指定します。

０：自振請求明細に店名を印字する。
１：自振請求明細に店名を印字しない。

**(8) 自振電話印字（標準は、０）**

検針伝票に、自振の銀行名、口座番号、振替額、電話番号などを印字したくないときに指定します。

０：印字する
１：自振の情報を印字しない
２：電話番号を印字しない
３：自振、電話番号の両方を印字しない

**(9) 伝票番号管理** ［2007.02.19追記］

売上伝票を入力するときに、伝票番号の入力を必須とするかどうかを指定します。
指定しない場合は、カーソルが入力欄に停止しません。データには空欄で記入されます。

０：使用しない
１：使用する。

**(10)契約単価更新（標準は、０）**

売上伝票入力時に、契約単価マスタを自動的に追加するかどうかを指定します。未登録の商品を売上したときに、「契約単価マスタ」に自動登録され、次回の入力時には、その単価が自動表示されるので、毎回同じ商品を売上げるときに便利です。対象は、３０品目までです。

０：自動更新しない
１：自動更新する。

# 6．5　プログラム実行制御用フラグ２

**(1) 日報印刷方法（標準は、０）**

日計表の出力を伝票入力日付けで行うか、伝票の日付で行うか指定します。

０：マシンデイト（データの入力日）で行う。
１：伝票の日付けで行う。（売上日、入金日）

**(2) 郵便振替制御（標準は、０）**

郵便振替用紙を印刷するときに、請求額を印刷するかどうかを規定します。請求書と一緒に郵送または持参して振込入金する場合には、金額を印刷しておくほうが便利です。
検針時に検針者が記入する場合には、金額が記入されていないほうが便利です。

０：請求額を印刷する。
　今回の請求額がない得意先には印刷されない。
１：請求額を印刷しない。
　今回の請求額がない得意先にも印刷される。

**(3) 集合点検**

**(4) 灯油地区ｷｰ長（標準は、０）**

ハンディを使用した灯油の配達管理で使用します。郵便番号の先頭から何桁を地区として使用するかを指定します。

０：使用しない
ｎ：使用する（１～７）

**(5) 配送伝票制御**

配送伝票を印刷する際に、「伝票発行抑止」フラグを使用するかしないかを指定します。

０：使用する。
　集中監視から残ガス警報、切り替え情報が受信されるまで配送伝

票の発行を行わない。
１：使用しない。残ガス警報等に関係なく、配送伝票は発行できる。

**(6) 明細改行制御（標準は、０）**
べた印字している帳票で、明細を１行おきにしたいときに使用する。

０：べた印字
１：１行おきに印字

◎現在（99年10月）機能しているのは、「入力データモニタリスト」のみ

**(7) ５行ごと下線（標準は、０）**
明細の印刷で、５行ごとに下線を印字することができます。レーザープリンタのカット紙、罫線のないストックフォームに印字するときに便利です。

０：印字しない
１：印字する

◎帳票により、５行ごととは限りません。バランスを考慮して印字しています。

**(8) サンクスポイント（標準は、０）**
０：使用しない
１：サンクスポイントを使用する

ガス１m3　　ｎ：１m3につき何ポイントとするかを指定。０～９
器具千円　　ｎ：器具売上額千円につき何ポイントとするかを指定。０から９
灯油千円　　ｎ：灯油売上額千円につき何ポイントとするかを指定。０から９

単位　　それぞれの最小ポイント単位を指定します。（０が規定）

有効月数　ｎｎ：ポイントの発生月からの有効月数。
０～２４で指定。
０の場合は、月数の管理をしないことを示します。（既定）
数字を指定すると、その月数を超えたポイントは、失効します。
（◎一部のユーザに提供しています。この機能を使用するには、お問い合わせ下さい。）

サンクスポイントは、一部のハンディ検針伝票、灯油売上伝票に印字されます。

**(9) リース売上**

**(10) 仕入単価**　　（未使用）

**仕入単価として、最新の単価を使用するのか、当月内の平均単価を使用するのかを既定します。**

**０：最終単価。既定。**
**１：移動平均単価。**
**当月内の平均単価。**

**(11) 集合親更新**
集合の子コードに、親コードを埋めて漏れがないようにします。
但し、顧客が連番になっているときに機能するので、コードが不定のときには、意味がありません。
０：使用しない
１：使用する。（月次更新が、遅くなります）

**(12) 在庫数更新**

在庫管理する商品の、数量をいつプラス／マイナスするのかを選択します。

０：商品売上げ時に、マイナス。仕入れ時に、プラスします。
１：商品出庫時に、マイナス。入庫時に、プラスします。

この機能は、「在庫管理（拡張）」が提供されていないと使用できません。

**(13)在庫金額更新**　（未使用）

**(14)在庫管理**　（未使用）

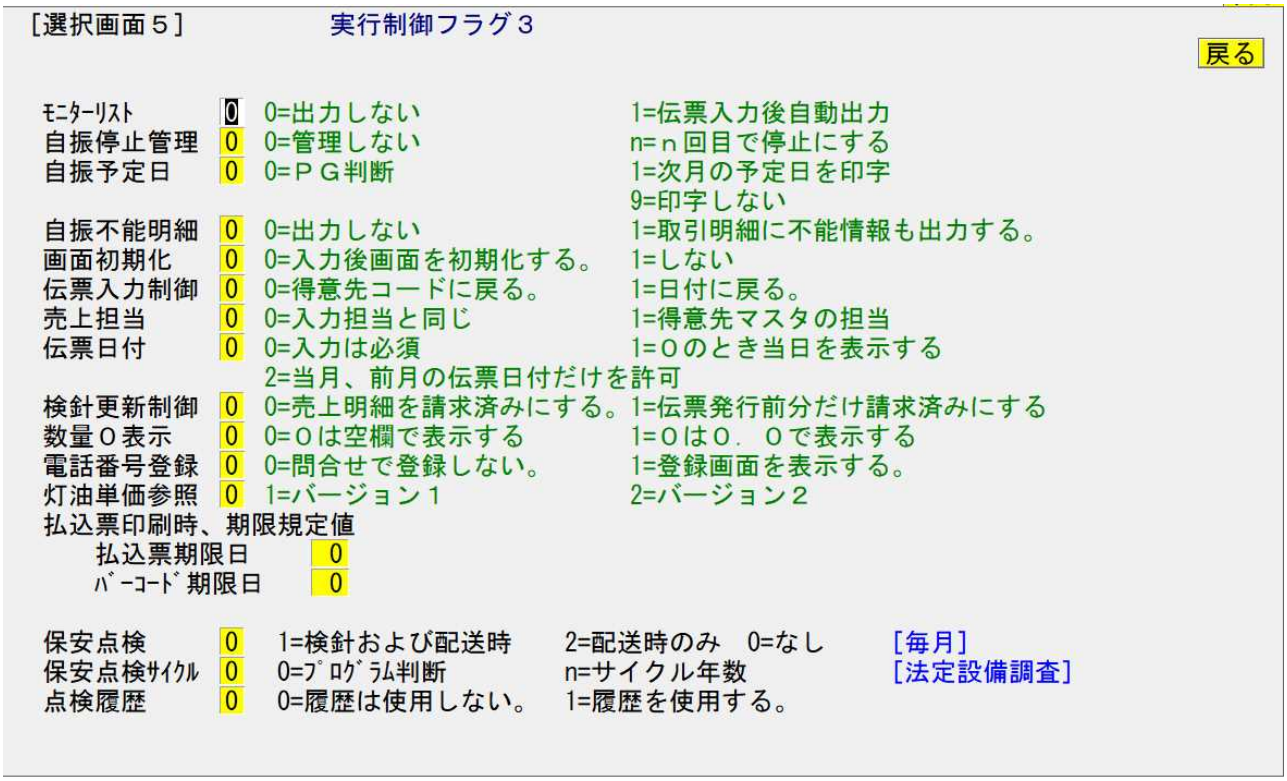
**(15)月次更新**

月次更新は、結構時間がかかるものです。
そこで、別途実行してもよいプログラムを、月次処理の連続実行から、はずすことができます。

ＭＳＰＤＥＬＥＴ　：当月新規、当月抹消を印刷。抹消については、実際に削除を行います。
ＨＳＰＧＳＲＹＯ　：配送のある得意先について、計数値の書き換えを行います。集合の場合は、当月の使用量を親コードに集めるとともに、予測の修正も行います。
ＨＮＵＲＩＣＰＹ　：当月の締め処理データを、年間明細ファイルに複写します。
ＨＮＵＲＩＤＥＬ　：保存月数の最後のデータをファイルから、削除します。もっとも時間がかかる処理です。
ＨＮＧＳＢＲＥＰ　：ガスの使用量分布表を、保存月数だけ残して、削除します。
ＨＡＰＭ２ＫＥＮ　：マイコンメータの漏洩試験結果のファイルを、２４ヶ月分だけ残して削除します。
ＥＳＤＢＲＥＰＲ　：作業指示ファイル、見積もりファイル中の削除状態のデータを削除します。

HSPGSRYO、HNURICPYは、指定ができませんが、他は指示することができます。月次更新が終了してから、別の機会に実行してください。実行しないでいると、ファイルが大きくなります。

# 6．6　プログラム実行制御用フラグ３




### (1) モニタリスト

伝票入力時に、自動的にモニタリストを印刷するかどうかを指定します。

０：出力しない。既定。　　別途、「入力データモニタリスト」を使用して下さい。
１：伝票入力後自動出力。

### (2) 自振停止管理

自振で、「振替不能」が続いたときに、何回で「自振」を停止するか指定します。

０：管理しない。既定。
ｎ：１から９。この回数に達すると、自振マスタにある「自振停止」を「１」（停止）にします。

### (3) 画面初期化

伝票入力などで、１伝票の入力後、画面を初期化しないで、入力時の内容をそのまま保持するかどうかを選択します。

０：入力後画面を初期化する。既定
１：しない。入力内容をそのまま表示します。

### (4) 伝票入力制御

売上伝票入力などで、１伝票の入力後、どこに戻るかを指定します。

０：得意先コードに戻る。既定。

１：日付に戻る。
伝票が、日付毎にまとまらないような場合に使用します。

### (5) 売上担当

売上伝票／入金伝票の入力時に、担当者の規定をどうするかを決めます。
０：入力担当者と、売上（入金）担当者は同じ
１：売上（入金）担当者は、得意先マスタの担当者とする。

### (6) 伝票日付

伝票日付の入力方法を規定します。
０：入力は必ず行って下さい。０はエラーとなります。
１：０の場合（何も入力しなかった場合）は、当日を表示します。
２：伝票日付は、必須であり、当月または前月だけを許します。

### (7) 検針更新制御

検針ハンディ、検針伝票に明細を印字したものだけを、請求済みにするかどうかの規定を行います。
０：伝票に印字したかどうかにかかわらず請求済みにします。
１：伝票に印字したものだけを請求済みにします。

◎この機能は、別途請求書を発行しないばあいのものです。

### (8) 数量０表示

帳票に、明細を印字する際に、値が０の場合に、０と印字するか、０．０と印字するかを規定します。

０：０は空欄で印字します。
１：０は、０．０のように印字します。

### (9) 電話番号登録

ＣＴＩ連携しているときに、番号の登録されていないお客から電話があったときに、照会画面から自動登録する機能があります。それを使用するかどうかを規定します。

０：使用しない
１：使用する。

### (10) 灯油単価参照

互換性のために使用しています。現在は、無意味です。

### (11) 払込票印刷時、期限規定値

コンビニ払込用紙の、バーコードの期限などを指定します。

払込票期限日　：得意先に知らせる、払い込みの期限日
通常、バーコードの期限よりも前の日付を指定します。
例では、バーコードが２５日後ですが、期限は、２０日後になっています。
これは、期限（と称しているもの）から少しの余裕があることを示しています。

ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ期限日　：バーコード上に記録される本当の期限日。これを過ぎると、コンビニでは払い込みができません。

### (12) 保安点検（標準は、０）

毎月の保安点検をいつ行うのか指定します。

０：更新しません。
１：検針時に点検する。検針日で点検したかのように更新されます。
　　不良箇所の有無にかかわらず、点検したことになります。
　　この指定があっても、配送時の点検更新は行われます。
２：配送時に点検する。検針時の更新は行われません。

### (13) 保安点検ｻｲｸﾙ（標準は、０）

供給設備、消費設備の調査点検サイクルを指定します。
０：保安マスタの点検サイクルを使用する。
１：１年サイクル。
２：２年サイクル。
ｎ：ｎ年サイクル。

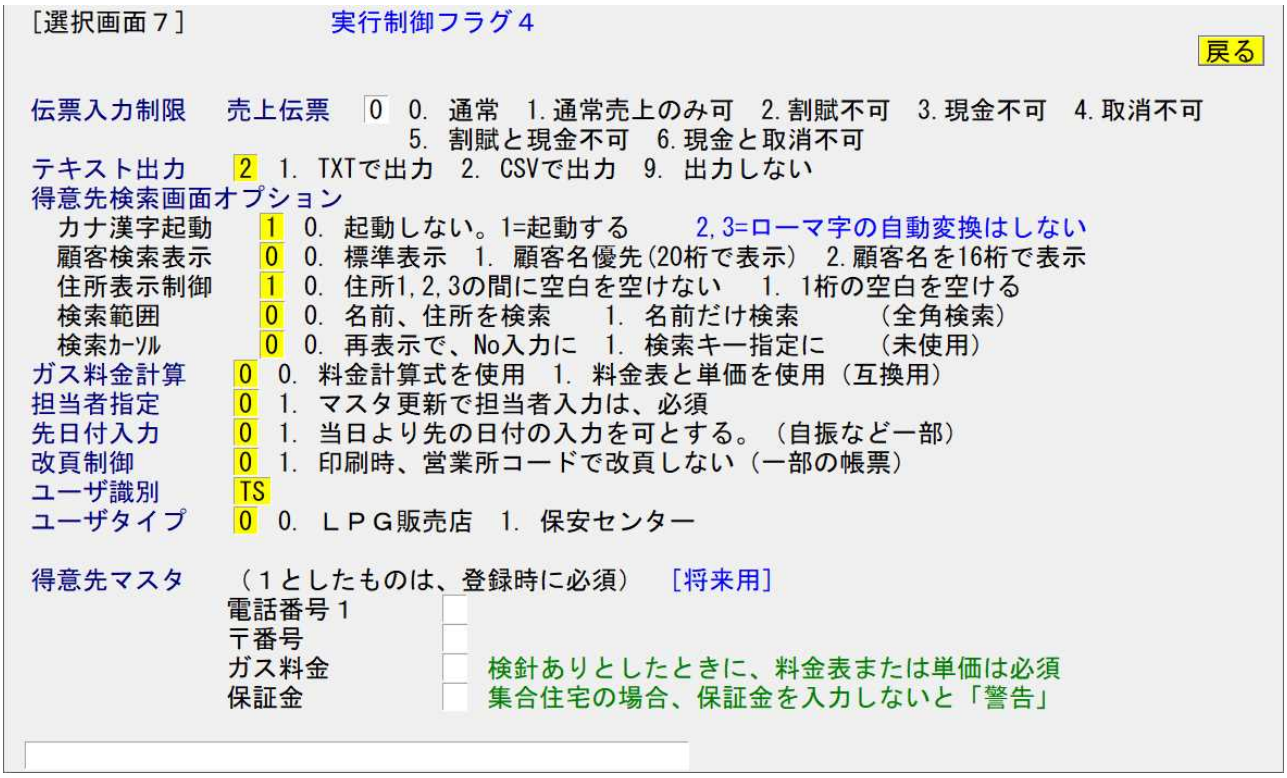
◎ここで指定しても、保安マスタで個々の得意先にサイクルが指定されていれば、それが優先します。
省略すると、１９９７、９８、９９年の点検は、３年サイクルになり、２０００年以降は４年サイクルになります。

### (14)点検履歴

保安調査の履歴ファイルを使用するかどうかを指定します。
履歴ファイルを使用すると、データの削除を行わないので、調査日、周知日、書面交付日などの履歴を、永久保存できます。

０：履歴は使用しない。既定。
１：履歴を使用する。

# 6．7　プログラム実行制御用フラグ４




### (1) 伝票入力制限

間違ってデータ入力しないように、使用できる機能を制限します。

［売上伝票］

０：全部可能
１：通常売上だけ可能。取消、割賦、現金は不可
２：割賦だけ不可
３：現金入力だけ不可
４：取消処理はできない
５：割賦売上と現金は不可
６：現金売上と取消処理は不可

### (2) テキスト出力（未使用）

様々なプログラムで、印刷内容と同内容を、ＣＳＶ形式のテキストデータで同時出力を行っていますが、このとき作成するファイルの拡張子を、「．ＴＸＴ」にするか「．ＣＳＶ」にするか選択できます。

１：ＴＸＴで出力
２：ＣＳＶで出力
　ＥＸＣＥＬで直接開けますが、文字列によっては、自動変換されて意図した内容にならないことがあります。
９：出力しない。　（未使用）

### (3) 得意先検索画面オプション

カナ漢字起動　　０：ＦＥＰ起動しない　　１：ＦＥＰ起動する。
自動的に、ローマ字やカナ入力になります。

**顧客検索表示**

０：標準表示
１：得意先の名称をより多くの桁数で表示。その分住所が削られる。

**住所表示制御**　［2007.02.19追記］

住所の桁数が長いので、画面表示や印刷時に、住所１と２、住所２と３の間の空欄を詰めています。単純に詰めると、住所１の末尾と、住所２の先頭は連続することになります。ここで空欄を空けるかどうかを指定します。

０：空欄を空けない
１：１桁の空欄をあける

**検索範囲**

全角文字検索を使用するときに、検索範囲を狭くするために使用します。
０：名前、住所を検索。既定。検索時間はよけいにかかります。
１：名前だけ検索。住所部分を検索しないので、その分早くなります。

## (4) ガス料金計算

０：標準形式。既定。計算式だけを用います。
１：料金表と単価を使用
旧システムでの料金表（計算式でない）と、単価／基本料金をそのまま使用する。

Ｐｒｅａ以降のハンディでは、使用できません。
集中監視システムからの取込では使用できません。

## (5) 担当者指定

データの入力時に、担当コードの入力を必須とするかどうかを指定します。
０：省力することが可能です。
１：データの入力時に、担当コードの入力を省略できないようにします。

## (6) 先日付入力

伝票の入力時に、当日よりも先の日付を許可するかどうかを指定します。
例えば、つぎのようなケースがあれば使用します。
①日付指定で売上を先に計上しておきたい。
②自振の結果を先に入力して、お客には、残高無しの状態にして検針したい。

０：既定。当日より先の日付は許しません。
１．当日より先の日付を指定しても、許します。

プログラムによっては、機能せず、先日付を許しません。

## (7) 改頁制御

印刷ページを少なくするために、営業所コードが変わっても、改頁しないで印刷したいときに使用します。

０：既定。改頁します。
１：改頁しません。（一部のプログラムだけ対応しています）

## (8) ユーザ識別

ユーザ個別の特殊処理を行うための識別コードであり、アクセスで決めています。

共通のプログラムで、ユーザ固有の処理が必要なときに、プログラム内で判断して個別処理を行うために使用しています。
プログラムによっては、画面の右上に表示されている場合もあります。

◎変更はできません。

### (9) ユーザタイプ

販売管理システムを、ＬＰＧ販売店で使用するか、保安センターで使用するか既定します。

０：ＬＰＧ販売店。既定
１：保安センター。いくつかの特殊な処理を行うために使用しています。

◎変更はできません。

### (10) 得意先マスタ　　（将来用）

# 6．8　ハンディ用規定値

## (1) 検針ハンディ規定値

パスワード　：このパスワードがハンディに送られると、それを知っている人だけが操作可能になります。省略は、００００と同じです。
この機能は、ＰｒｅａＧＴ機では使用しません。

業務区分　：検針ハンディで行う業務の区分です。
１．検針のみ
２．検針と入金処理が行えます。
３．検針と点検処理が行えます。
４．検針、点検、入金のすべての処理が行えます。

追加業務　：Ｐｒｅａで使用できます。
０：検針業務だけ行えます。
１：検針時に、同時に「灯油の販売」も行えます。
２：検針時に、同時に「容器の交換」も行えます。
３：検針時に、同時に「灯油の販売」と「容器の交換」も行えます。

値引き入力　：０．値引きの入力が可能です。
１．値引きの入力をしません。（画面がでてこない）

伝票印字枚数　：１．１枚だけ発行（規定）
ｎ．指定の枚数を発行

伝票印字確認　：０．印刷前に「確認」せず、印刷を開始します。
１．いったん停止してから、指示により印刷を開始します。

お知らせＦ　：０．お知らせ文は、固定です。
１．お知らせ文は、１度指定するとそのまま固定的に採用されます。
変更すると、それ以降は、また固定的になります。
２．印刷の都度、お知らせ文を選びます。

用紙種類　：０．ロール紙を用います
１．折りたたんだ連帳を用います。
「規定用紙」を使うか、「白紙」を使うかは、ハンディで選択可能です。

（ＰｒｅａＧＴのみ）

伝票長さ　　：１用紙の長さを、ｍｍで指定します。
標準では、２１６を入力します。

ﾀｲﾐﾝｸﾞﾏｰｸ　　：０．タイミングマークによる用紙の位置制御を行いません。
白紙を使用したときは、常にこの設定になります。
１．タイミングマークで用紙の頭出し位置などを決めます。
標準の検針伝票を使用する場合は、「１」を使用。

以下は、規定値ですが、個々の得意先にも同じ項目があり、得意先の指定が優先します。
得意先を新規登録するときに、初期値として使用されます。

基本料金　　：０．印字しません。
１．印字します。

消費税印字　　：０．内税表記になります。
１．外税表記になります。
９．表示しません。

次の規定値は、「自振」「ＣＶＳ」「請求書」「現金」それぞれで設定することができます。
得意先を新規登録するときに、初期値として使用されます。

残高印字　　：０．「前回の請求額」、または「前回の繰越額」を印字しません。
１．印字します。
「得意先マスタ」作成時に、
入金方法＝「自振」は、　「自振」の値
入金方法＝「ｺﾝﾋﾞﾆ」は、「ｺﾝﾋﾞﾆ」の値
以外は、　「現金」の値
がそれぞれ得意先マスタにセットされます。（変更可）

「得意先マスタ」更新時に、
入金方法＝「自振」は、　「自振」の値
入金方法＝「ｺﾝﾋﾞﾆ」は、「ｺﾝﾋﾞﾆ」の値
がそれぞれ得意先マスタにセットされます。（変更可）

明細印字　　：０．リース、割賦以外の明細を印字しません。
１．全明細を印字します。
「得意先マスタ」作成時に、
入金方法＝「自振」は、　「自振」の値
入金方法＝「ｺﾝﾋﾞﾆ」は、「ｺﾝﾋﾞﾆ」の値
以外は、　「現金」の値
がそれぞれ得意先マスタにセットされます。（変更可）

「得意先マスタ」更新時に、
入金方法＝「自振」は、　「自振」の値
入金方法＝「ｺﾝﾋﾞﾆ」は、「ｺﾝﾋﾞﾆ」の値
がそれぞれ得意先マスタにセットされます。（変更可）
入金方法を、上記以外に変更したときに、「現金」の値を使用するかどうかは、オプションです。

振込先印字　　：０．印字しない
１．印字する。
営業所マスタに記録されている、「振込先」をハンディに送信します。ハンディでは、この情報があれば、お知らせ欄に印字します。

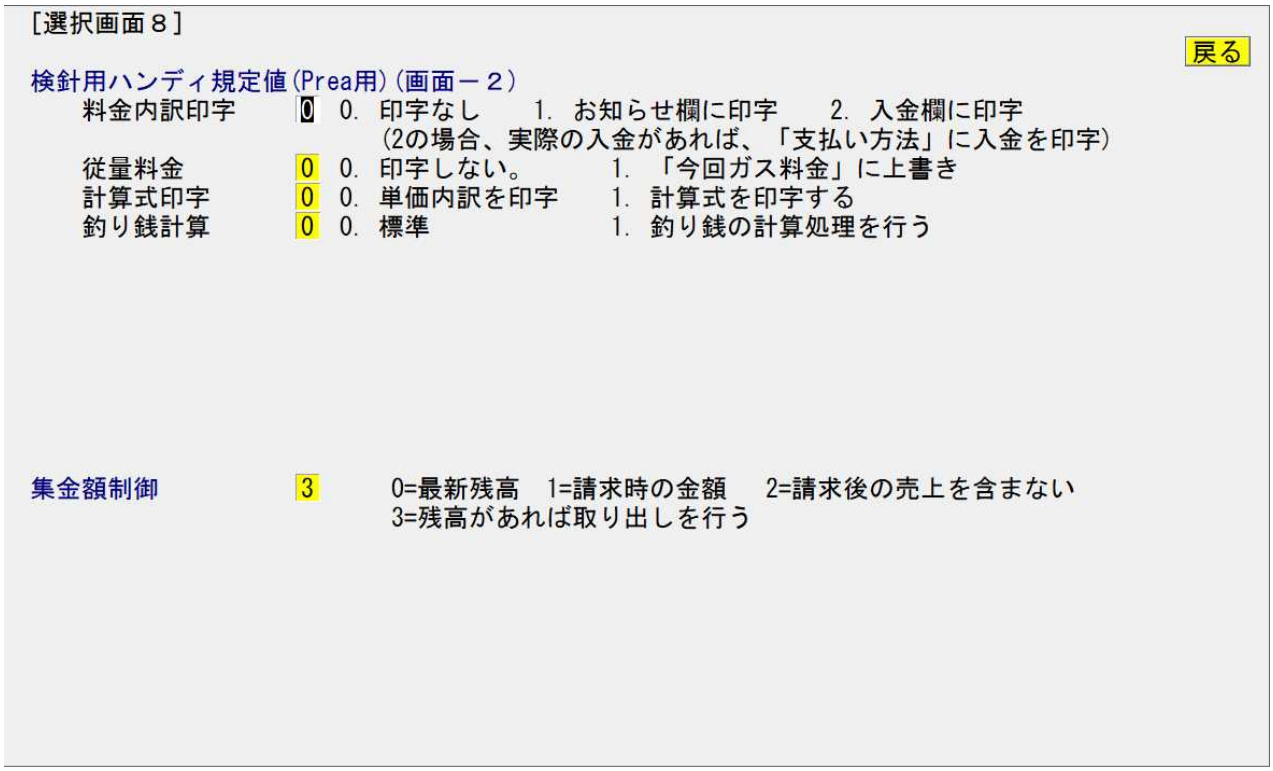
前年同月数量　　：０．印字しない。
１．印字する。
前年同月使用量の値を、ハンディに送信します。
振込先と同じ場所を使って印字するので、同時に使用することは

できません。（白紙の場合を除く）

消費設備情報　：０．送信しない
１．送信する。
警報器の期限、燃焼器具の名称をそれぞれ５個までハンディに送信します。ハンディ画面で「ボタン」タッチで、内容を参照することができます。

自振入金　：０．自振の客でも「入金」可能
１．自振の客には「入金」の画面が表示されないので、入力できない。

# 6．9　ハンディ用規定値２




料金内訳印字　：０．印字無し
１．お知らせ欄に［従量料金］の内訳を印字する。
２．入金欄に［従量料金］の内訳を印字する。
３．入金欄に［従量料金］の内訳を印字する。実際の入金があった場合は、「支払い方法」欄にそれを印字する。

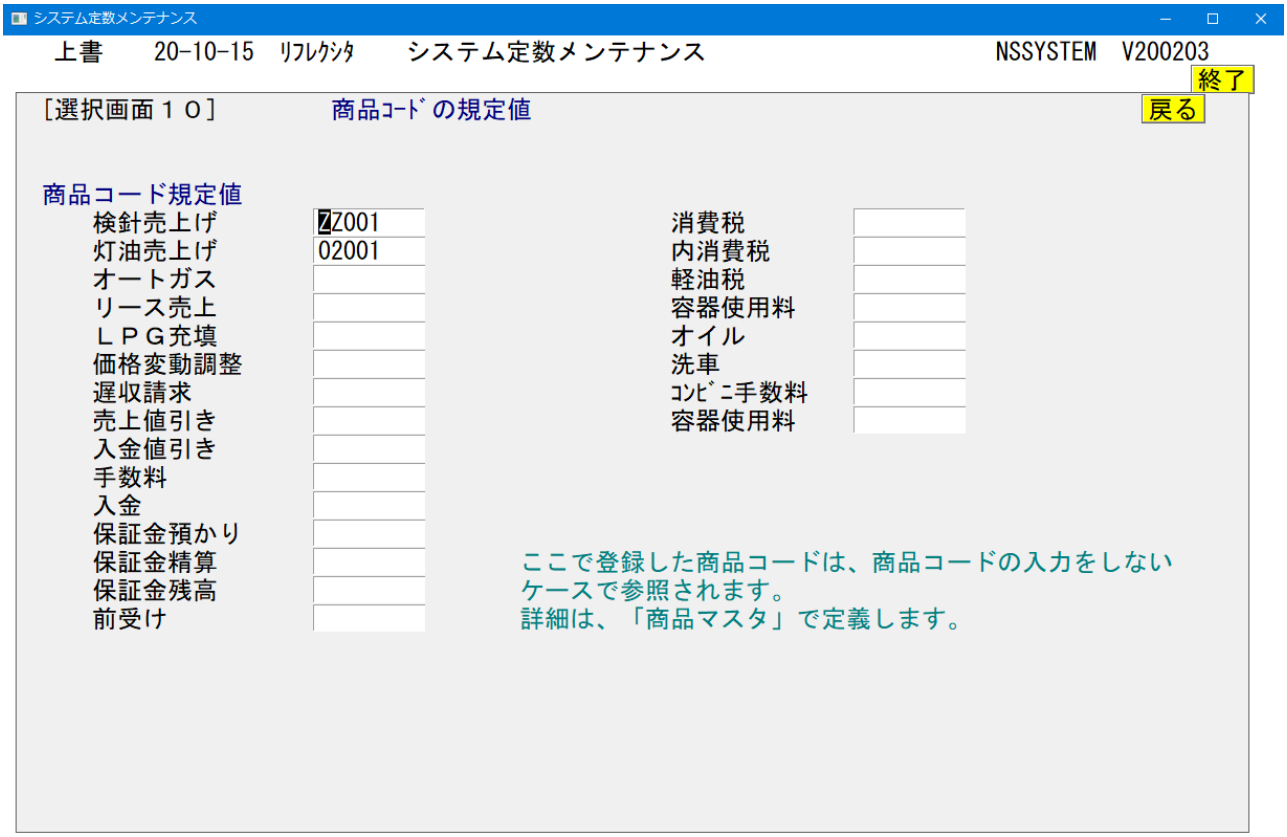
従量料金　：０．印字しない
１．「今回ガス料金」に上書き　（伝票に上書きします）

計算式印字　：０．単価内訳を印字します。
１．計算式を印字します。

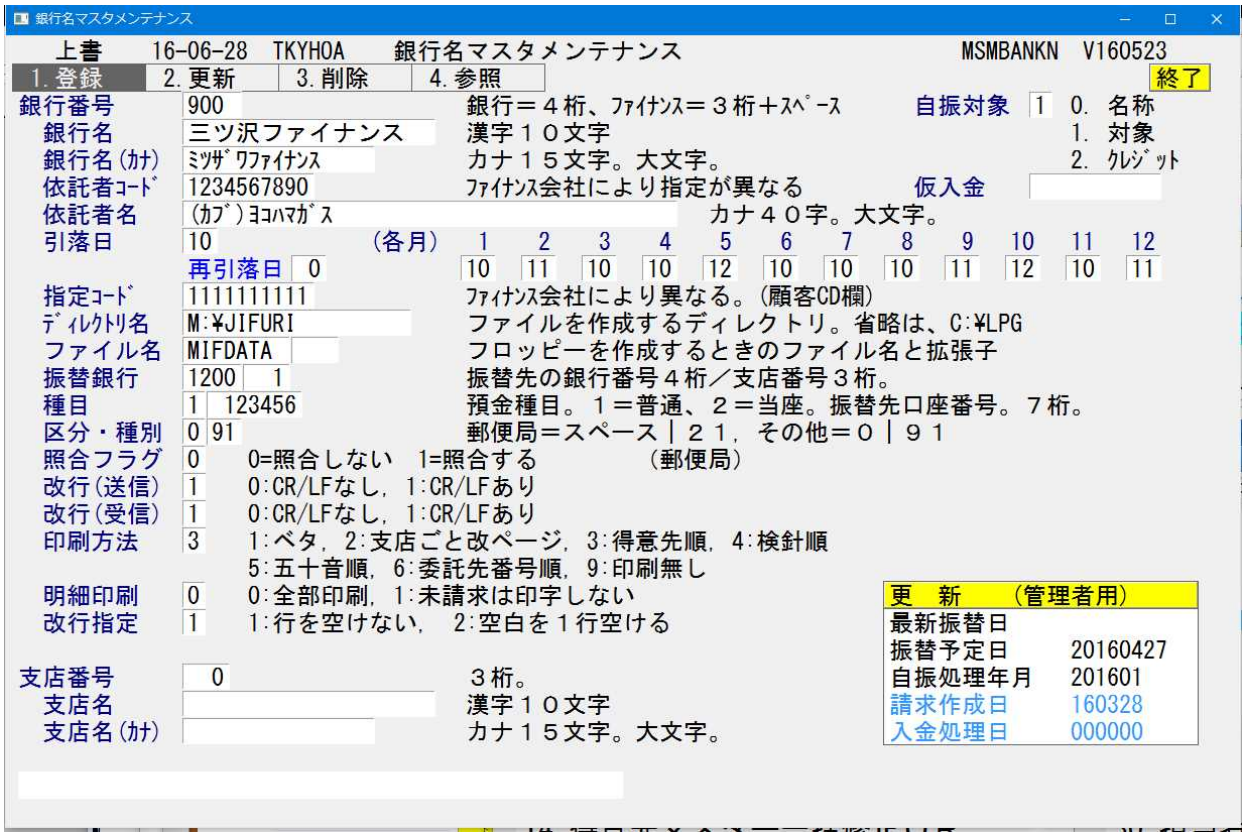
◎「料金内訳印字」が０でないときに機能します。

釣り銭計算　：０．計算しません。
１．ハンディで現金を頂く場合に、釣り銭の表示を行います。

# 6．10　商品コードの規定値

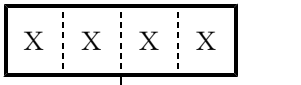


# ７．銀行名マスター




### (1) 銀行番号

銀行協会で決まっている銀行番号または、３桁のファイナンス番号（任意）を入力します。



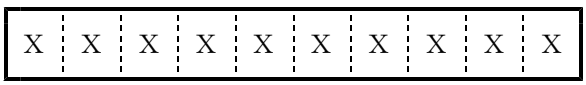

０００１～９９００

（注）９９００は郵便局なので、銀行は０００１～８９９９までを使用する。

ファイナンスを介して、請求する場合は、委託番号（３桁）を指定します。この番号は、「得意先マスタメンテナンス」での、［委託］の指定と一致しなければなりません。銀行番号と区別するために、４文字目はスペースとして登録します。特に定められた番号はありませんが、ＢＡＴファイルを作成する都合上、サポート担当者と相談して、決めて下さい。

### (2) 銀行名

銀行名を漢字１０文字で入れます。




（例）日本銀行
　　郵便局

### (3) 銀行名（カナ）

銀行名をカナ１５文字で入れます。
小文字は使用しないで下さい。

| X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

（注）郵便局の場合は「ユウセイシヨウチヨキンキヨク　」と入力する。
（注）委託者コードからファイル名までの各項目は、その銀行に開設している販売店の口座の情報を入力するもので預金口座振替請求書を出力するためには必須項目。

### (4) 委託者コード

金融機関と契約したときに決めた委託者コードを１０文字でいれます。

| X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

金融機関ごとに、指定のしかた、桁数、右詰めか左詰めか異なるので、確認して下さい。

例：三井ファイナンス　　００ｘｘｘｘｘｘｘｘ
　　富士銀ファクタ　　ｘｘｘｘｘｘ００００
　　東総信　　ｘｘｘｘｘｘｘｘ００
　　Ｉ－ＮＥＴ　　ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ
　　浜銀ファイナンス　　０００００００ｘｘｘｘ
　　あさひ銀ファイナンス　　００００００ｘｘｘｘｘ
　　郵便局　　ｘｘｙｙｚｚｚｚｚｚ
　　（注）郵便局の場合はセンターコード２桁を２回繰り返し、
　　事業主番号６桁を入力する。

### (5) 委託者名

委託者名をカナ４０文字で左づめに入れます。

| X | X | X | X | X | X | X | ・・・・・・・・・・・・・・・・・ | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

（例）ヨコハマガス　カブ゛シキガ゛イシヤ

### (6) 引落日

毎月の引き落とし日を指定します。

| X | X |
|---|---|

０１～３１

実際の引き落とし日が、休日の場合がありますが、ここではそれには関係なく登録します。

### (7) 各月

各月の引き落とし日を、１２ヶ月分登録します。この登録があれば、その日付を優先します。
日付がないときは、「引落日」を使用します。

### (8) 指定ｺｰﾄﾞ

金融機関と契約したときに決めたコードを１０文字でいれます。

| X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

銀行に渡すデータの中で、「顧客コード」を記録する欄がありますが、ここの先頭から何文字かを、銀行から指定されることがあります。依託者コードと同一の場合が多いのですが、銀行により桁数、記録位置がまちまちです。

例：三井ファイナンス　　ｘｘｘｘｘｘｘｘ００
　　富士銀ファクタ　　ｘｘｘｘｘｘ００００
　　東総信　　ｘｘｘｘｘｘｘｘ００
　　ジャックス　　ｘｘｘｘｘｘｘｘ００
　　Ｉ－ＮＥＴ　　ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ
　　浜銀ファイナンス　　ｘｘｘｘ０００００
　　あさひ銀ファイナンス　　ｘｘｘｘｘ００００

銀行、郵便局と直接データ交換する場合は、全桁を０にします。

(9) ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ名

送信用のデータを最終的につくる場所を指定します。
［例］

| | |
|---|---|
| Ｃ：￥ＬＰＧ | 規定値 |
| Ｍ：￥ＪＩＦＵＲＩ | サーバーがある場合 |
| Ａ： | フロッピーディスク |

**(10)ファイル名**

自動振替用フロッピーのファイル名を８文字以内の英数字で指定します。
名前は、通常金融機関からの指定ファイル名とします。ＭＳ－ＤＯＳ形式のファイルの場合、名前に拡張子を付ける金融機関があります。指定があれば、右の欄に記入します。

| X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

ファイル名　　拡張子

例：郵便局　＝　ＪＩＨＡＲＡＩ

**(11)振替銀行**

ファイナンスなどの委託コードを使用した場合、ここで、自社の口座のある銀行番号を指定します。

| X | X | X | X |
|---|---|---|---|

**(12)振替支店**

振込先口座のある支店番号。

| X | X | X |
|---|---|---|

００１～９９９

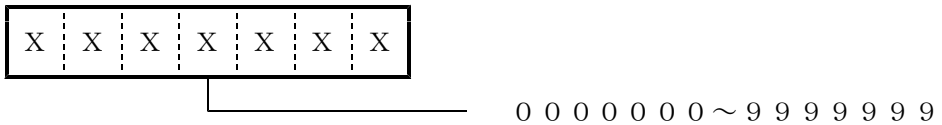
（注）郵便貯金の場合は、通帳記号５桁の中３桁を入力します。

### (13)種目

普通預金か当座預金かの区別

### (14)口座番号

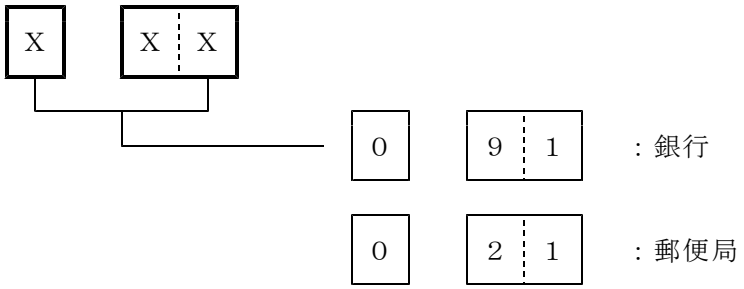
口座番号を７桁の数字で入力します。余りの桁には、前ゼロを入れます。




（注）郵便貯金の場合は通帳番号８桁の左７桁を入力します。

### (15)区分・種別

ガス料金の扱いであることを示します。自動振替ＦＤに書き込まれます。




（注）銀行の場合の、左の欄の０は、ＪＩＳコードでデータがつくられていることを示しています。１の場合は、ＥＢＣＤＩＣコードであることを示します。
ＭＳ－ＤＯＳ形式の場合は、ＪＩＳコードです。ＩＢＭ形式の場合は、１を入れます。
銀行によってこの欄を、チェックする／しないがあります。指摘されたらそれに従って下さい。

### (16)媒体

出力するフロッピーの種類を指定します。3.5ｲﾝﾁのMS-DOS形式の場合だけ必須です。
（現状では、意味がありません）

### (17)形式

媒体を指定したとき、データの書き込み形式を指定します。MS-DOS形式の場合だけ必須です。
（現状では、意味がありません）

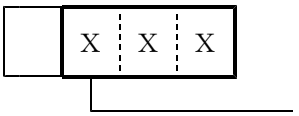
### (18)改行

媒体、形式を指定したとき、データの明細に改行コード（CR/LF）を付けるかどうかを指定します。
改行コードを付けない場合は、１データは、１２０バイトで作成されます。改行コードを付けると、１データは、１２２バイトで作成されます。

ここに、Ｃを入力すると、改行コードありとみなし、かつ、相手先で指定の顧客コードで作成されていることを示します。請求データを作成するときは、「委託先ＮＯ」を顧客コードとします。

### (19)支店番号

支店の支店番号を入力します。
自動振替請求書はこの支店番号順に出力されます。



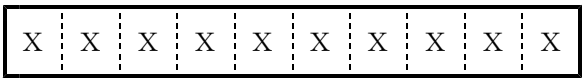

０００～９９９

（注）郵便局の場合、支店番号及び支店名の入力は不要。

この番号が登録されていると、請求書に支店名が印刷されるが、ファイナンスを介して請求する場合にはあまり意味がないので、登録しなくてもよい。（銀行番号だけ登録されていれば、自振の請求は可能）

### (20)支店名

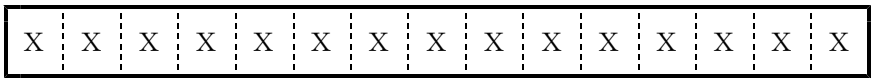
支店番号に対する支店名を漢字１０文字で入力する。
印刷物にそのままの形で印刷されるので「支店」まで入れる。




（例）西口駅前支店

### (21)支店名（カナ）

自動振替ＦＤに出力される。
カナ１５文字で入力する。

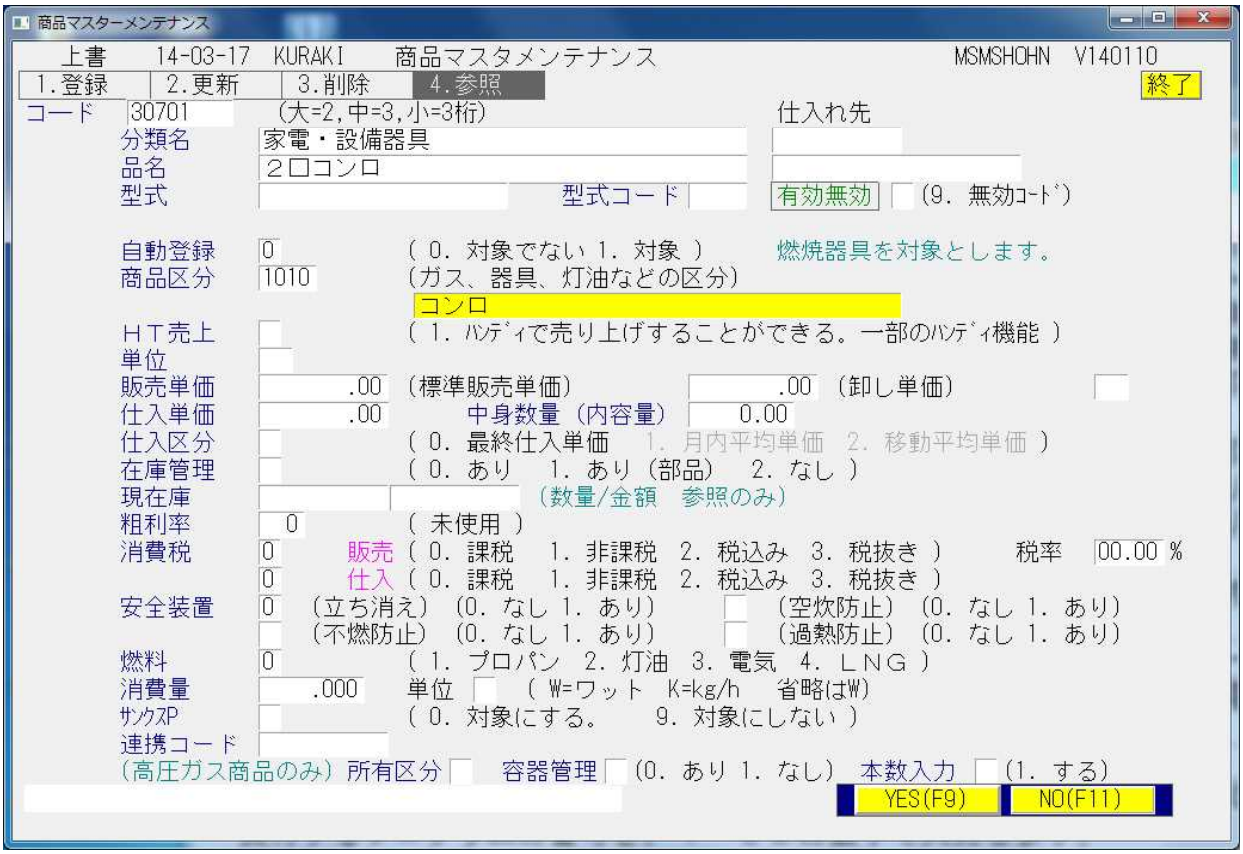



このマスタは、自動振替請求書一覧と、請求書の振込先口座名に印刷されます。

・自動振替請求では、銀行番号だけが登録されていれば、請求データの取り出しは行えます。

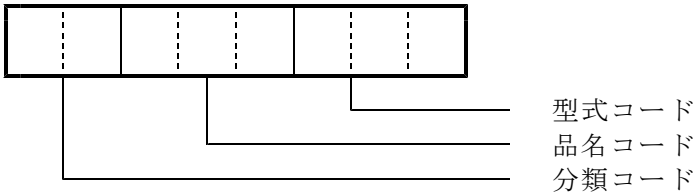
・請求書の振込先口座には、支店名称の印字も必要なので、登録して下さい。
参照--> 「社名／営業所名マスタ」

# ８．商品名マスター




## (1) コード

商品のコードを８桁で入力します。




分類コードだけでは、商品コードとしては、使用できません。分類コード＋品名コードの５桁で作成して、売上伝票の入力に使用します。
さらに、型式まで管理したいときには、型式コード３桁を追加して８桁で登録します。

分類コード、ＺＺはシステムで使用しますので、削除、変更はしないで下さい。このコードを使用しての、売上伝票の入力はかまいません。

＜ご注意＞　ＺＺ０２０～ＺＺ０２０９９９の範囲のコードは、入金値引きとみなし、消費税は含まれるものとします。
ＺＺ０２１～ＺＺ０２１９９９の範囲のコードは、売上値引きとみなし、消費税が計算されます。ガス、器具など、それぞれ別個に値引きの管理を行いたい場合は、値引きの商品コードは、別途作成し、それぞれに、「商品区分」を登録して下さい。

## (2) 分類名

商品の大分類名を入力します。通常は、メーカー名、器具の分類（ガス、灯油など）などに使用します。名称は、漢字で２０文字。半角文字は使用できません。

（例）　リンナイ
　　パロマ
あるいは
　　ガス器具
　　ＧＨＰ

### (3) 品名

品名を漢字２０文字で入力します。半角文字は使用できません。
売上伝票入力で商品コードを入力すると品名として表示されます。その他、請求書、問い合わせ画面などでも、この名称が使われます。

（例）　ガス湯沸かし器
　　ガス風呂釜
　　プロパンガス重量売り
　　ガス器具修理部品
　　アセチレン
　　酸素

### (4) 型式

型式を英数字２０桁で入力します。半角文字で登録して下さい。
通常、８桁まで使用する場合は、単品管理を行いたい場合であり、器具などの型式を個別に管理したいときに使用します。仕入れ在庫管理を行う場合には、売上と仕入れで同じ商品コードを使用して下さい。

（例）　ＰＨ－１００
　　ＢＪＣ－６００Ｊ

### (5) 仕入れ先

仕入れ先会社を、２社まで登録できます。
該当の商品をどこから仕入れたらよいか判断するときに役立ちます。

### (6) 自動登録（ＬＰガス販売管理システムで使用）

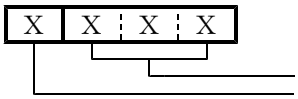
売上伝票入力で売上げた商品を、消費設備ファイルに自動的に登録するか否かを指定します。

[X]　１：設備ファイルに自動登録する。
　　主に燃焼器具などの場合。
　　０：登録しない。

（注）顧客管理をしていないシステムでは常に０を指定する。
　　１を指定した場合でも得意先マスターの器具自動登録が１になっている得意先の売上伝票入力にのみ有効。

### (7) 商品区分

ガス、器具、灯油など、大きな分類と、その中の細目を指定します。
コードの作り方により、商品のグループ管理ができます。




細目
大分類　０：ガス　４：油類
１：器具　５：リース
２：器具
３：工事

(8) ＨＴ売上（ＬＰガス販売管理システムで使用）

検針時に、ガス以外の商品をその場で売上するための商品名をハンディに登録します。

X　１：ハンディで売上処理することができる商品
０：ハンディで売上処理できない（ハンディに登録されない）

(9) 単位

X X　２桁の英数字。請求書、納品書などに単位を印刷するときに使用します。
実際の単位文字は、「名称マスタ」で登録しておきます。
名称マスタに登録がないときは、この文字がそのまま印字されます。

(10)販売単価

売上伝票入力で表示する小売り単価を入力します。

X X X X X X X . X X　少数以下２位まで。

この単価に消費税が含まれているかどうかは、「消費税」区分か、「システム定数」での規定によります。

(11)卸し単価（未使用）

売上伝票入力で表示する卸売り単価を入力します。

X X X X X X X . X X　少数以下２位まで。

この単価に消費税が含まれているかどうかは、「消費税」区分か、「システム定数」での規定によります。

(12)仕入単価

売上伝票入力で表示する仕入単価を入力します。
標準的な仕入れ単価を入力します。ここで登録しておくと、売上伝票の入力時に、仕入れ単価として記録され、粗利の算出が可能です。また、仕入れ伝票の入力時にも仕入れ単価として表示されますから、間違いのチェックに使用できます。

X X X X X X X . X X　少数以下２位まで。

この単価に消費税が含まれているかどうかは、「消費税」区分か、「システム定数」での規定によります。

**現在、この単価は、このプログラムだけで更新しています。将来、最終仕入れ単価、平均単価などにより更新する予定です。（０４年１２月）**

### (13)仕入区分

仕入れ単価の更新をどのタイミングで行うかを指示します。

０．最終仕入れ単価
１．月内平均単価
２．移動平均単価

### (14)在庫管理

在庫管理を行う対象であるかどうかを指定します。

[X]

０：在庫管理を行う（製品）。
１：在庫管理を行う（部品）。
通常、数量の管理ができないものを指定する。在庫金額だけの管理となる。
２：在庫管理を行わない。
３：在庫管理を行う（商品の分類で管理する）。
灯油などを販売するときに、売上単価ごとに複数の商品コードをつけるが、仕入のときは１つのコードで済ませたいときに使用する。
例えば、次のようになる。

| | | | 在庫管理 | 単価 |
|---|---|---|---|---|
| 1010 | 灯油 | | 0 | |
| 101001 | | ﾀﾝｶｸﾌﾞﾝ 1 | 3 | 50 |
| 101002 | | ﾀﾝｶｸﾌﾞﾝ 2 | 3 | 48 |
| 101003 | | ﾀﾝｶｸﾌﾞﾝ 3 | 3 | 47 |

売上時は、６桁のコードを使用するが、数量の引き当ては、４桁のコードから行う。従って、仕入時は、４桁のコードで入力する。

### (15)現在庫

表示のみ。

### (16)粗利率

現在未使用

### (17)消費税

[X]

０：消費税の対象である。
１：消費税の対象でない。
２：定価（売上額）は税込みである。
３：定価（売上額）は税抜きである。
（注）２、３の指定は、［システム定数］の指定より優先する。

税率 [5.00] %
ここで税率を指定すると、システム定数の指定よりも優先します。

### (18)安全装置（燃焼器具を対象）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 立ち消え安全装置 | ０：あり | １：なし | ９：対象外 |
| 不燃防止装置 | ０：あり | １：なし | ９：対象外 |
| 空炊き防止 | ０：あり | １：なし | ９：対象外 |
| 過熱防止 | ０：あり | １：なし | ９：対象外 |

(19)燃料（燃焼器具を対象）

１．ＬＰＧ
２．灯油
３．電気
４．ＬＮＧ

(20)消費量（燃焼器具を対象）

単位時間当たりの消費量を入力します。
単位で、Ｗ（ワット）、Ｋ（ｋｇ）を指定します。

(21)サンクスＰ

該当の商品をサンクスポイントの対象にするかどうかを規定します。
０．対象にします。
９．対象にしません。

(22)連携コード（未使用）

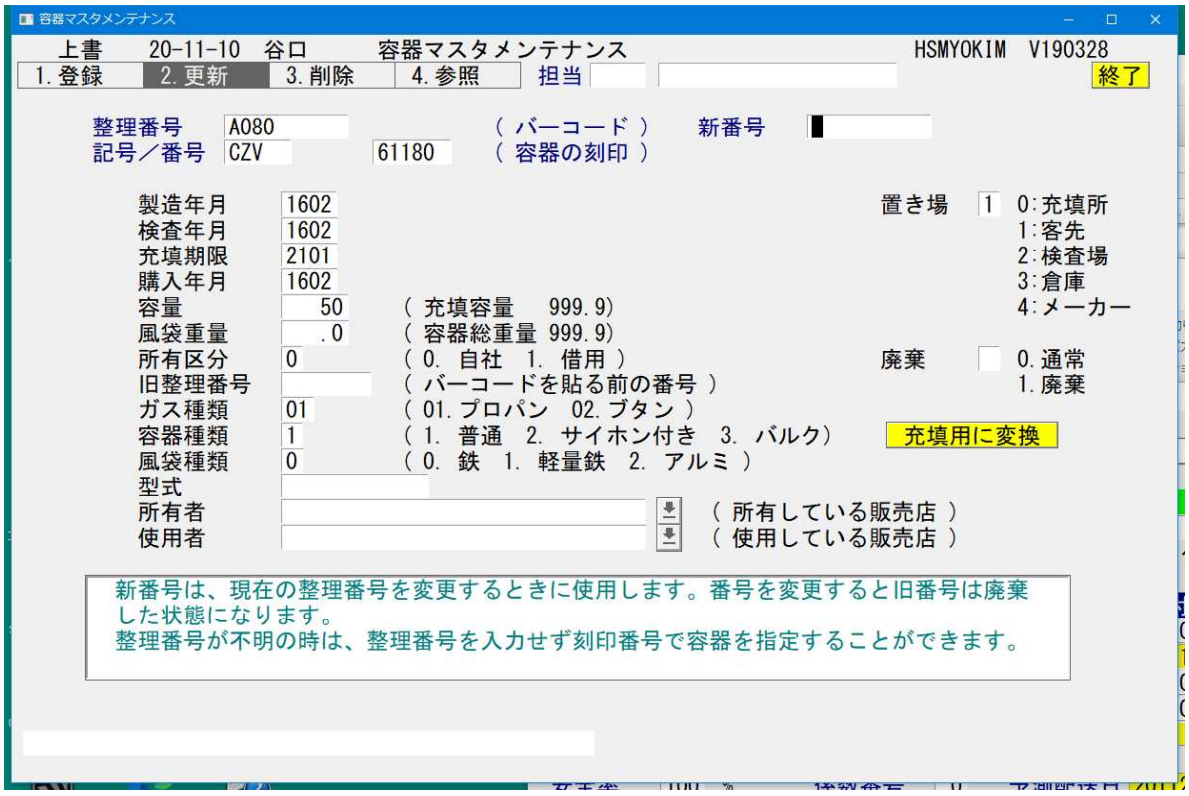
会計システムと連携するときに使用します。

(23)所有区分～本数入力

「一般高圧ガス販売管理」を使用する一部のユーザに提供しています。

# １０．容器マスター

V030509




## (1) 整理番号

容器の識別を行うための整理番号

| X | X | X | X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

０００００００００～ＺＺＺＺＺＺＺＺ

（注）コードの区分けをしていないので、８桁以内であれば現在使用中のものがそのまま使用できます。
新しく番号づけを行う場合は、例えば次のようにkgがわかるようにしておいてもよいでしょう。

５０kg ： ５００００１～５９９９９９
２０kg ： ２００００１～２９９９９９

伝票への記入、番号の入力を考慮して、全て数字が望ましいです。
バーコードでの容器管理を行う場合は、桁数は統一されていなければなりません。
また、バーコード管理の場合は、ハンディを使用することが考えられるので、コードに意味合いを持たせる必要はなく、連番でも良いでしょう。

## (2) 容器記号、容器番号

容器に刻印されている記号、番号を登録します。番号は数字ですが、左詰めで入力します。

| X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|

| X | X | X | X | X | X |
|---|---|---|---|---|---|

記号(5ｹﾀ)　　番号(6ｹﾀ)

### (3) 製造年月

容器の製造年月。西暦で、例えば、１９９４年１０月ならば、９４１０と入れます。

| X | X | X | X |
|---|---|---|---|

### (4) 検査年月

前回検査した年月。西暦で、例えば、１９９４年１０月ならば、９４１０と入れます。

| X | X | X | X |
|---|---|---|---|

### (5) 充填期限

検査が満了する年月。容器には、和歴で書かれていても、西暦で入力して下さい。

| X | X | X | X |
|---|---|---|---|

### (6) 購入年月

容器の購入年月。西暦で、例えば、１９９４年１０月ならば、９４１０と入れます。

| X | X | X | X |
|---|---|---|---|

### (7) 容量

容器に充填可能なガスの重量（kg）

| X | X | X | X |
|---|---|---|---|

０００１～９９９９
小数点以下が０のときは整数部分だけで良い。
（例）　５０kg　：　５０

### (8) 風袋重量

容器自身の重さ（kg）

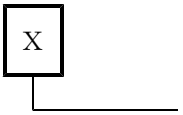
| X | X | X | . | X |
|---|---|---|---|---|

０００．０～９９９．９
小数点以下が０のときは整数部分だけで良い。

（例）　５０kg　：　５０

### (9) 所有区分

容器が自社で購入したものか、あるいは借用しているものか区別する。

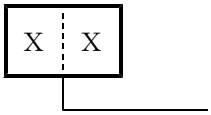



０：自社
１：借用

### (10) 旧整理番号

整理番号を変更したときに、前の番号を控えておく場合に使用します。

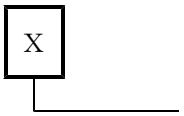
### (11) ガス種類




０１：プロパン
０２：ブタン

### (12) 容器種類

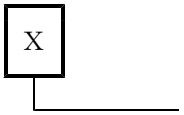
容器の種類を区別します。




１：普通
２：サイホン
３：バルク

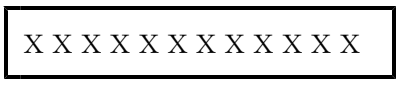
### (13) 風袋種類

容器の素材を区別します。




０：鉄通
１：軽量な鉄
２：アルミ

### (14) 形式



容器の型式を１２文字以内で入力します。主にバルク容器用です。

(15)所有者

この容器の所有者を特定するのに使用。すべてが自社容器ならば、使用する必要はありません。
２桁のコード（会社コード）で指定します。
他社の容器のときは、「所有区分」にも、［１］を登録して下さい。

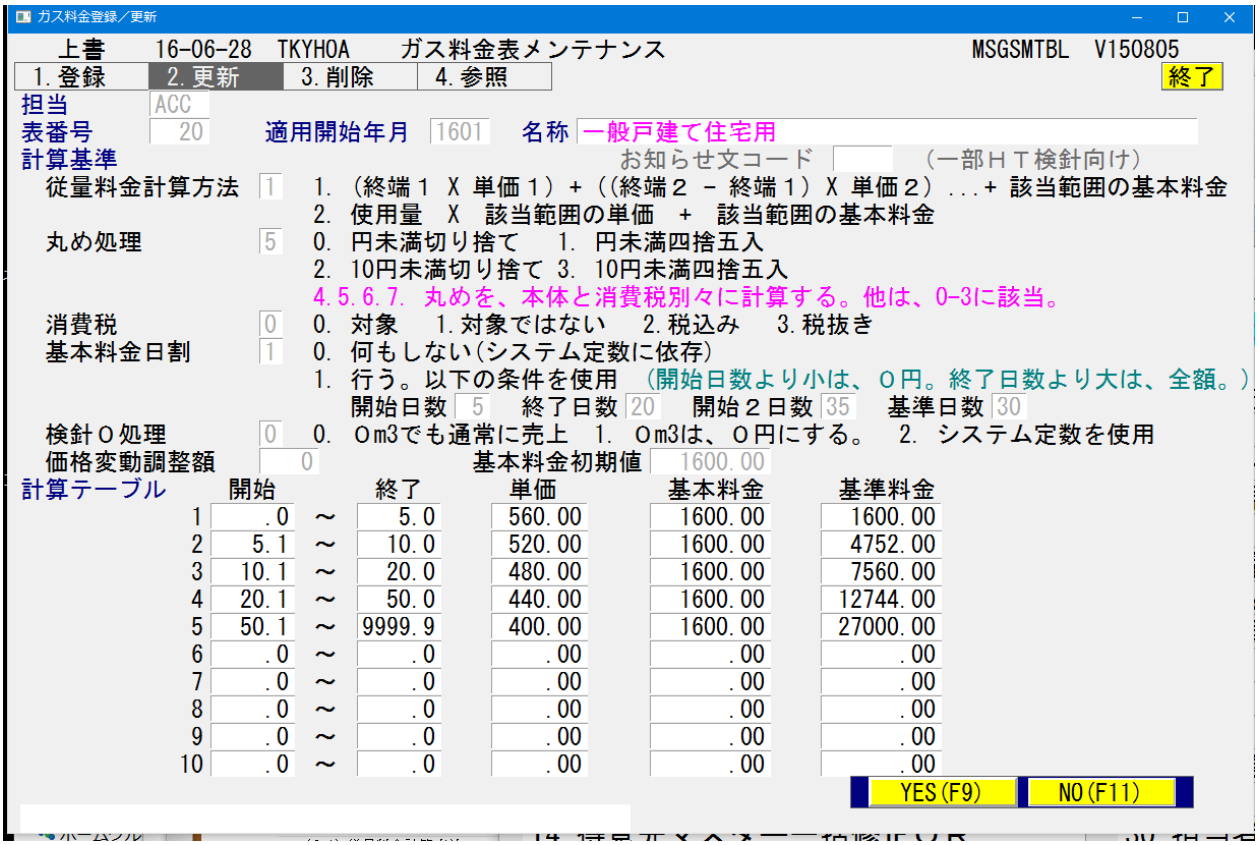
このコードは、「名称マスタ」で登録します。

(16)使用者

この容器が、特定の販売店（あるいは営業所）向けに使用されているときに、それを識別するために使用します。すべてが、自社使用ならば、この項目は必要ありません。

このコードは、「名称マスタ」で登録します。

# １１．ガス料金マスター（計算式）




### (1) 表番号

得意先マスタの料金表の番号。４桁の数字

### (2) 運用開始年月

いつから適用されているかを、年月で示します。料金計算には影響しません。

### (3) 名称

該当料金表が、どのような得意先に適用されているかわかるように、名前をつけることができます。

### (4) 計算基準

(4-1) 従量料金計算方法

１．基本料金が固定で、単価が使用量に応じて変化するもの。

0.0m3から最初の終了範囲までは、

使用量 × 単価 ＋ 基本料金初期値

で計算します。終了金額が、２番目の項目の基準料金になります。

料金は次の計算式で求められます。

（終端１ × 単価１）＋（終端２ － 終端１） × 単価２ ＋
（使用量 － 終端２） × 単価３ ＋ 該当範囲の基本料金

例

| | [開始] | | [終了] | 単価 | 基本料金 | 基準料金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 0.0 | ～ | 10.0 | 380.0 | 1600 | 1600 |

ならば、次の計算で、２行目のスタートは、5400円になります。

10.0 × 380.0 ＋ 1600 ＝ 5400
この金額を基準料金と呼び、計算過程のチェックに使用します。

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 10.1 | ～ | | | | 5400 |

２項目の単価を、360円、終了を30m3とすると次のようになります。

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 10.1 | ～ | 30.0 | 360.0 | 1600 | 5400 |
| 3 | 30.1 | ～ | | | | 12600 |

終了を、9999.9にすると、それが最終になります。

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 10.1 | ～ | 30.0 | 360.0 | 1600 | 5400 |
| 3 | 30.1 | ～ | 9999.9 | 280.0 | 1600 | 12600 |

例えば、15.6m3の料金を計算してみます。

(10.0 × 380.0) ＋ (15.6 － 10.0) × 360.0 + 1600 =
3800 ＋ 2016 + 1600 = 7416

２．簡易ガスなど基本料金が段階的に変化するもの
料金は、次の計算式で求められます。

**使用量 × 該当範囲の単価 ＋ 該当範囲の基本料金**

例えば、次のような料金表の場合。

最初の８m3まで、単価が400円で、基本料金が1000円
最終3までが、単価が360円で、基本料金が4000円

例

| | ［開始］ | | ［終了］ | 単価 | 基本料金 | 基準料金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 0.0 | ～ | 8.0 | 400.0 | 1000 | 1000 |
| 2 | 8.1 | ～ | 9999.9 | 360.0 | 4000 | 4200 |

と登録します。基本料金は、自動計算されないので、手入力します。基準料金は、料金表を作るために、自動的に刻まれて計算されますが、ハンディなどで料金計算するときは、上記の計算式で行うので、一致するとは限りません。

(4-2) まるめ処理

０．１円未満切り捨て
１．１円未満四捨五入
２．１０円未満切り捨て
３．１０円未満四捨五入

４，５，６，７については、左記の処理を、本体と消費税に分けて計算します。

(4-3) 消費税
この料金表が、消費税込みであるかないかを指定します。

０．対象。（システム定数で内税ならば、内税。外税ならば外税）
１．対象でない。（システム定数に依存しない）
２．税込み。（システム定数に依存しない）
３．税抜き。（システム定数に依存しない）

(4-4) 基本料金日割

０．なにもしない（計算しない）
１．計算する。
開始日数　００～９９

前回検針日からの日数が、この日付未満ならば０円とする。
この日付から、終了日数までが、日割り計算対象となる。

終了日数　　００～９９
検針日数が、開始から終了に入るときは、日割り計算を行う。
この日付を超えて、開始２日数未満は、全額。

開始２日数　００～９９
この日付以上は、日割り計算を行う。

例：　開始　　終了　　開始２
５　　２５　　３５
の場合、４日以下の日数では、基本料金は、０円
５日から２５日以下の日数では、日割り計算する。
２６日から３４日以下の日数では、日割り計算しない。
３５日以上の日数では、日割り計算する。

基準日数　　００～９９
通常３０を入力。
日割り計算する場合は、

①１日当たり　＝　基本料金　／　基準日数　　（１円未満切り捨て）
②日割り後基本料金　＝　１日当たり　×　検針日数

が、今回の基本料金になる。

★この機能は、一部のハンディプログラムで提供しています。

### (4-5) 価格変動調整額

ここに記録されている金額で、ガス料金を調整します。例えば、＋３０で入っていて、１０m3を検針すると、
価格変動調整額　　３００円
となります。

### (4-6) 基本料金初期値

テーブルにセットする基本料金の初期値を入力します。０m3のときの料金にも該当します。
入力は必須です。
料金テーブルの、基本料金欄にもコピーされますが、テーブル内は変更可能です。特に簡易ガスの場合には、注意して入力して下さい。

## (5) 計算テーブル

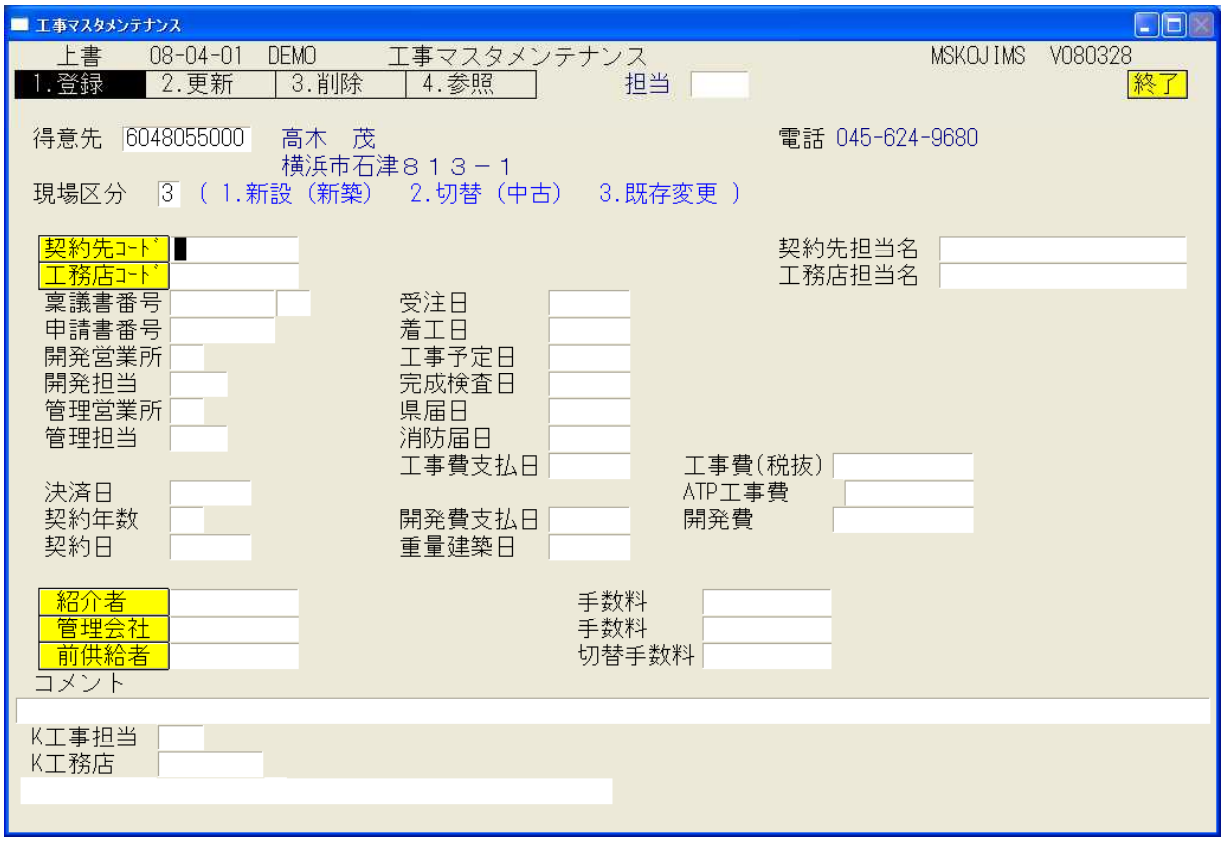
単位の指定と、その間の単価を入力します。
０から始まるので、例えば、１０m3まで３９０円とするならば、

| | 終了 | 単　価 |
|---|---|---|
| ０　～ | １０．０ | ３９０．００ |

のように入力します。

基本料金は、必要ならば入力します。各階層ごとに入力できます。基準料金はプログラムが自動的に計算します。各階層のスタート料金になります。
最後の行は、「～　９９９９．９」にして下さい。

# １２．工事マスター




### (1) 現場区分

| | |
|---|---|
| X | １．新設（新築）<br>２．切替（中古）<br>３．既存変更 |

※特に意味はありません。

### (2) 契約先コード、契約先担当名

契約を交わしたお客のコードを登録します。登録されているコードならば、右欄に名称が表示されます。
担当者の記録もできます。
未登録でもエラーとはしません。

### (3) 工務店コード、工務店担当名

工事を行った工務店のコードを登録します。登録されているコードならば、右欄に名称が表示されます。
担当者の記録もできます。
未登録でもエラーとはしません。

### (4) 稟議書番号

社内で管理する番号を記録します。
同じ稟議書を改訂したときに、連番を管理することができます。
（別途稟議書を管理するサブシステムがあり、連携することができます）

**(5) 申請書番号**

社内で管理する番号を記録します。

**(6) 開発営業所、開発担当**

お客を開拓した営業所と、そのときの担当者を記録できます。

**(7) 管理営業所、管理担当**

現在お客を管理している営業所と、そのときの担当者を記録できます。

**(8) 決済日、契約年数、契約日**

決済を行った日。<br>契約年数。<br>契約日。　）記録できます。

**(9) 受注日～消防届け日**

それぞれの、日付を記録できます。

**(10)工事費支払日、工事費、ＮＣＵ工事費**

工事に関して支払った金額を記録できます。

**(11)開発費支払日、開発費**

外部に新規開発を委託したときに、支払った金額を記録できます。

**(12)紹介者**

お客を紹介してくれた「紹介者」を記録できます。
コードが登録されていれば、名称が表示されます。

**(13)管理会社**

アパートなどを管理している「管理者」を記録できます。
コードが登録されていれば、名称が表示されます。

**(14)前供給者**

以前ガスを供給していた「会社」を記録できます。
コードが登録されていれば、名称が表示されます。

**(15)手数料１，２、切替手数料**

前項以外に支払った費用を記録できます。

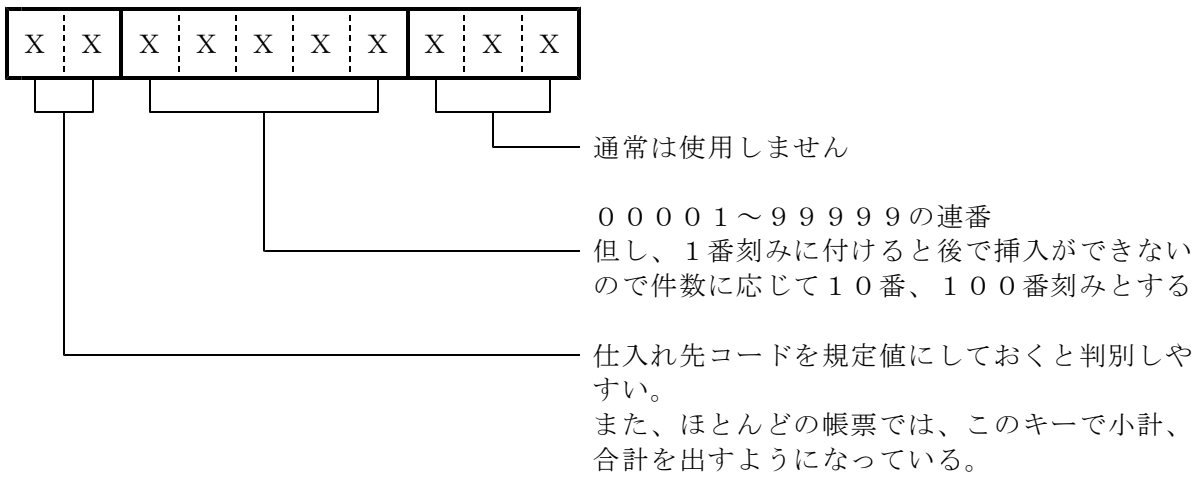
**(16)コメント**

任意の文章を、全角で５０文字記録できます。

# １３．仕入れ先マスター

### (1) 得意先コード

仕入先１件づつにつける固定番号。同一のコードは許されません。




文字の種類は、数字、英字、カナ文字及びそれらの混在が可能。伝票入力時の操作性を考慮すると、数字で統一することが望ましいです。

### (2) 得意先名

仕入先の会社名などを漢字で４０文字以内で記入します。伝票や帳票のレイアウトによっては、４０文字全部が印刷されないものもあるので、左詰めで記入して下さい。

### (3) 電話番号

２個まで登録できます。

それぞれの桁数は、１３桁までです。
種別は、プルダウンメニューから選択 して下さい。

市外局番を入れる必要はないが、ＣＴＩとの連動を考慮して、始めから入れておくとよいです。得意先の検索には、下４桁を使用します。

### (4) カナ名

５０音で仕入先を取り出すのに使用します。画面検索では、前６文字だけ使用するので、検索しやすいように記入して下さい。

### (5) 郵便番号

３桁＋４桁で、規定のものを登録して下さい。これを入力すると、［検索］で、郵便番号辞書にある住所を自動入力できます。

### (6) 住所

全角で６０文字入ります。
　最初の枠は、市区郡町（都道府県を除いて）
　次の枠は、丁目と番地
　３番目の枠は、建物名と部屋番号
と、登録すると良いです。

### (7) 拡張キー

半角カナ文字で入力します。初めの６文字をキーにしており、検索時に使用することができます。

### (10) 業務

仕入先に対して適用する業務を指定します。
この指定によってレコードの発生、削除が行われ、使用するプログラムも制限を受けます。

９：仕入管理だけを行う。
　仕入／支払伝票の入力が行える。
０：得意先の名称だけ登録したいときに指定する。

### (18) 地図

仕入先の位置を市街地図ですぐにさがせるように、頁や記号をコード化して登録します。
前の２桁には、地図の作製年を入れ、後の８桁には、ページ、たてよこの記号を入れます。

**(20)地区CD**

「買掛金管理表」を、地区別に印刷したいときに、使用する。

４桁以内で地区分けする。（町村、河川、ゼンリン地図など）

**？(21)配送地区**

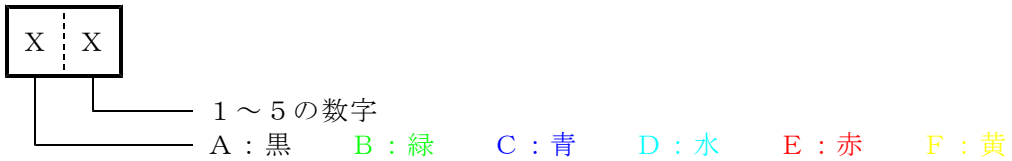
配送伝票を地区指定で、印刷したいときにこのコードを使用する。

０００００～ＺＺＺＺ、またはカナ、スペース
任意の分類コードを指定する。

**(22)任意区分**

ここに任意の区分を入れておくと、仕入伝票などを入力するときに、それが画面に表示されます簡単なサインの意味で使用できます。

任意区分２
仕入先の色分けに使用する。




ここに、Ａ１～Ｆ５の文字が記入されていると、ＣＴＩ対応の「仕入先問い合わせ」に、例えばＥ３ならば、■■■　のようにマークが表示される。

任意区分３（未使用）

**？(23)分類区分**

他社とのデータ交換を、行う場合に、他社を分類するために使用することができます。この場合は、センターコードと組み合わせて使用します。

（注）この機能を使用する場合は、オプションとなります。コードは、固定的に決めていますので、使用する場合には、サポート担当に確認する必要があります。

**(27)受持担当**

この仕入先の基本担当者のコードを登録します。担当者別のリストを出力するときに使用します。

**？(29)配送担当**

配送関係の担当者コードを入れます。

**(02)消費税**

消費税をどのように添加して請求するかを指定します。

０：内税
伝票入力時に、価格に５／１０５を掛けて税額を分離して記憶し、請求書上では、売上明細は税込みで印字し、税額の合計を（）で囲って印字する。

例

| | |
|---|---|
| 湯沸かし器 | ２０６００ |
| （消費税） | （　６００） |

１：外税

伝票入力時に、価格に５／１００を掛けて税額を計算して記憶し、請求書上では、売上明細は税抜きで印字し、税額の合計を「消費税」として印字する。

例

| | |
|---|---|
| 湯沸かし器 | ２００００ |
| 消費税 | ６００ |

８：請求書発行時に、売上明細を合計した上で税額の計算を行います。

９：消費税の表示はない。

**(05)税計算　　（未使用）**

消費税の計算単位を指定します。
０＝明細ごと．．．売上時に随時加算されます。
１＝請求時　．．．請求書発行時に、売上合計に対して算出します。
請求書を発行する得意先に対してのみ有効です。

**？(06)請求書**

３：請求書の発行はしないが「月次データ締処理」で売掛金（買掛金）の締めを行い、請求書の発行と同等の処理をする。
ガスの検針のない得意先（灯油のみ、仕入れ先、現金売り用の諸口など）はこれを指定する。

**(07)締日**

請求書を発行するときに、仕入先の選択を行うために使用します。

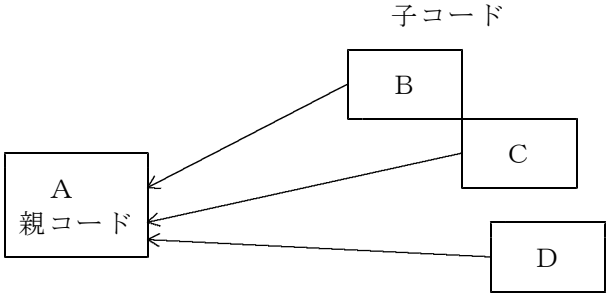
| | |
|---|---|
| X | X |

請求書の発行ありとした場合は必ず、００以外の日付を指定します。

**？(08)請求先**

複数の仕入先の請求を１得意先に集めて、請求書を１つにしたいときに、集める先の仕入先コードを指定します。

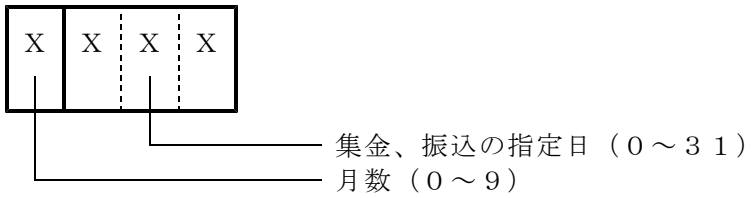
（例）




Ａが本店で、Ｂ～Ｃが支店の場合で、支店の請求をまとめて本店に行うならば、請求先にＡの得意先コードを指定する。

(10)サイト　　（１部ユーザに提供）　　(2003.11.10追加)

請求されてから入金するまでの間の取り決め。
集金日と似ているが、６０日、９０日というサイトで契約することもあり、１から３１では、表現ができないので、そういう場合に使用します。




［例］

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指定なし： | ０－０ | | |
| ２０日締めで月末支払： | ０－３１ | ｻｲﾄ10 | |
| ２０日締めで翌月末支払： | １－３１ | ｻｲﾄ40 | |
| ３１日締めで翌月１０日支払： | １－１０ | ｻｲﾄ10 | (0-10でも同じ) |
| ３１日締めで翌月末支払： | １－３１ | ｻｲﾄ30 | |
| ３１日締めで翌々月１０日支払： | ２－１０ | ｻｲﾄ40 | |
| ３１日締めで９０日後支払 | ３－３１ | ｻｲﾄ90 | |

**◎「請求書」で支払日を印字している場合に適用します。**

(11)集金日

毎月の集金予定日を入力します。
ハンディへ集金データを取り出すときに使用する。指定があると特定の集金日だけ取り出すことができます。